

宮城畜試
No.5 - 2
資料

令和5年度

# 宮城県畜産試験場年報

2024年8月

宮城県畜産試験場

## は し が き

この年報は、宮城県畜産試験場において、  
令和5年度に実施した業務の概要についてま  
とめたものであり、関係各位の参考になれば  
幸いに存じます。

令和6年8月

宮城県畜産試験場

場 長 菊 地 武

# 目 次

## I 試験研究の展望

1. 試験研究の実施概要 ..... 1
2. 試験研究課題一覧 ..... 3

## II 試験研究の紹介

1. 乳用牛のベストパフォーマンス発揮に向けた飼養管理手法の確立 ..... 5
2. DNA 多型マーカーと家畜の生産形質及び遺伝的疾患等との関連に関する研究  
(牛) ..... 5
3. 黒毛和種牛の肉質差別化指標開発とゲノミック評価手法の高度化による肉質  
・繁殖能力の改良技術の開発 ..... 5
4. 効率的な黒毛和種雄牛造成とその活用法に関する研究 ..... 5
5. アグリテック活用推進事業 ..... 6
6. 牛の受精卵移植技術の実証 ..... 6
7. 哺乳動物細胞の乾眠に関する基礎的研究 ..... 7
8. 市販培地を活用したウシ体外受精卵作出技術の検討Ⅱ ..... 7
9. 優良種豚供給体制の確立 ..... 7
10. DNA 多型マーカーと家畜の生産形質及び遺伝的疾患との関連に関する研究  
(豚) ..... 7
11. 本県産系統豚の能力向上技術の確立 ..... 8
12. イムノシンバイオティクスと DNA マーカーによる豚の腸内環境改善を介する  
抗病性向上手法の開発事業 ..... 8
13. 飼料作物・牧草適応品種の選定 ..... 8
14. 子実用トウモロコシの水田における栽培技術の確立 ..... 9
15. 気象変動に対応した飼料作物の栽培 ..... 9
16. 除染後の牧草地における草地管理技術の確立 ..... 9
17. 堆肥の利用拡大に向けた「特殊肥料等入り指定混合肥料」の製造及び利用方  
法の検討 ..... 9
18. その他 ..... 10

## III 研究発表、広報、普及活動および研修等

1. 職員の研究発表一覧 ..... 11
2. 広報・普及活動（講習会・研修会） ..... 12
3. 会議関係 ..... 13
4. 出版物 ..... 16
5. 研修 ..... 17
6. 普及に移す技術、参考資料 ..... 17
7. 畜産試験場成果報告会 ..... 17

#### IV 業務の概要

1. 家畜の飼養状況 .....	18
2. 飼養種畜名簿 .....	20
3. 生産物の状況 .....	38
4. 牧草・飼料作物の生産 .....	39
5. 気象経過 .....	41

#### V 総務

1. 沿革 .....	42
2. 機構 .....	44
3. 会計 .....	46
4. 県有財産 .....	49

# I 試験研究の展望



## 1 試験研究の実施概要

### (1) 酪農肉牛部

令和5年度に実施した試験研究は、乳牛チーム1課題、肉牛チーム5課題、バイオテクノロジー研究チーム5課題(肉牛チーム共通2課題含む)で、うち新規課題は2課題である。

乳牛チーム関係では、「乳用牛のベストパフォーマンス発揮に向けた飼養管理手法の確立」において、ICT機器を活用した飼養管理の検証ではICTを活用することにより受胎率の向上が期待できた。また、哺乳子牛への初乳製剤の給与期間の延長は、疾病に対し抵抗性を付与している可能性が示唆された。

肉牛チーム関係では、「DNA多型マーカーと家畜の生産形質及び遺伝的疾患等との関連に関する研究」において、枝肉重量、ロース芯面積、BMSNo.を対象形質とし、ssGBLUP法とGBLUP法の評価制度の違いを検証した結果、遺伝率は両手法で同程度と推定された。

バイオテクノロジー研究チーム関係では、「牛の受精卵移植技術の実証に関する研究」において、ブタFSH製剤にヒアルロン酸製剤を添加し、さらにブタFSH製剤の分割投与を組み合わせることが過剰排卵処理成績に及ぼす影響について検討した結果、ブタFSH製剤の分割投与において、過剰排卵処理成績は全ての項目で有意な差は認められなかった。ヒアルロン酸添加ブタFSH製剤の筋肉内投与と皮下投与を比較した結果では、後者の方が適していることが明らかになった。

### (2) 種豚家きん部

令和5年度に実施した試験研究は、原種豚チーム3課題、養豚家きんチーム2課題(両チーム共通1課題含む)である。

種豚家きん部共通課題である「優良種豚供給体制の確立」では、系統豚「ミヤギノL2」と系統豚「しもふりレッド」の維持群の能力調査を実施し維持・増殖を図るとともに、「ミヤギノL2」育成雌14頭、「しもふりレッド」育成雄17頭、育成雌30頭、家畜人工授精用液状精液6,340本を配布した。

原種豚チーム関係では、「DNA多型マーカーと家畜の生産形質及び遺伝的疾患との関連に関する研究」において、パターン認識受容体NLRP3遺伝子多型と「ミヤギノL2」肥育豚の発育と出荷成績の関連を調査した結果、雄ではAA型と比較してAG型で一日平均増体量が有意に増加し、雌ではAA型と比較してGG型で背脂肪厚が有意に厚くなった。「イムノシンバイオティクスとDNAマーカーによる豚の腸内環境改善に介する抗病性向上手法の開発事業」では、離乳子豚にワカメ粉末及び乳酸菌培養液を給与した結果、離乳後の下痢で萎縮した絨毛の回復が促進された可能性が示され、前年度試験の再現性が確認された。

養豚家きんチーム関係では、「本県産系統豚の能力向上技術の確立」において、「しもふりレッド」の近交度上昇による遺伝的適応度への影響は確認されず、遺伝分散の低下傾向も確認されなかった。また、離乳後の子豚の飼料に5-アミノレブリン酸を添加給与したところ、発育や腸内環境に有意差は確認されなかった。さらに、3品種(L種、D種、LWD種)の豚肉の脂肪酸組成について比較した結果、D種はL種より飽和脂肪酸含量が多く、ステアリン酸やLWD種脂肪抽出液により甘味受容体が活性化される可能性が示唆された。

### (3) 草地飼料部

令和5年度に実施した試験研究は、草

地飼料チーム4課題、環境資源チーム2課題（両チーム共通1課題含む。）で、うち新規課題は1課題である。

草地飼料部関係の共通課題である、「除染後の牧草地における維持管理技術の確立」において、放射性物質の移行低減技術を検討した。これまでと異なるほ場においては、ゼオライトの施用の有無によらず土壤中のカリが保持され放射性セシウム（以下「RCs」）の吸収が抑制された。また、化成肥料の施肥は、牧草の収量が多いが収穫によるカリの持出量も増えたため土壤中カリ含量が少なかったが、堆肥の施肥は、一定程度の収量と土壤中カリが確保できたことから、RCs 吸収対策と牧草の収量確保の経営面を踏まえた適切な肥培管理を進めるためにも、堆肥の効率的活用が有効と考えられた。

草地飼料チーム関係では、「飼料作物・牧草適応品種の選定」において、標準品種と比較し初期生育が良好な品種がみられるなどの各品種のデータを集積した。「子実用トウモロコシの水田における栽培技術の確立」では、殺虫剤散布により赤カビ等が低減された。「気象変動に対応した飼料作物の栽培」では、強害雑草のワルナスビがスーダングラスに被陰により生育が抑制されることを確認した。フロストシーディングでは、令和4年冬季播種後の気象条件下では秋期まで牧草を維持することができなかった。

環境資源チーム関係では、「堆肥の利用拡大に向けた「特殊肥料等入り指定混合肥料」の製造及び利用方法の検討」において、混合肥料の肥料原料・加工法の違いによる保管時の品質や土壌埋設時の溶出成分、牧草の収量に大きな差はなかった。堆肥と緩効性肥料の混合肥料を利用したソラマメ等の現地実証試験では、慣行施肥区と比較して同等の結果が得られた。



## 2 試験研究課題一覧

### (1) 家畜関係

課 題 名	予算区分	試験期間	担当部・チーム
1. 乳用牛のベストパフォーマンス発揮に向けた飼養管理手法の確立	県単受託	令 5～令 9	酪農肉牛部・乳牛チーム
2. DNA 多型マーカーと家畜の生産形質及び遺伝的疾患等との関連に関する研究（牛）	県 単	平 11～	酪農肉牛部・肉牛チーム
3. 黒毛和種牛の肉質差別化指標開発とゲノミック評価手法の高度化による肉質・繁殖能力の改良技術の開発	受 託	令 3～令 5	酪農肉牛部・肉牛チーム
4. 効率的な黒毛和種雄牛造成とその活用法に関する研究	県 単	平 15～	酪農肉牛部・肉牛チーム ・バイオテクノロジー研究チーム
5. アグリテック活用推進事業	県 単	令 3～令 6	酪農肉牛部・肉牛チーム ・バイオテクノロジー研究チーム
6. 牛の受精卵移植技術の実証	県 単	昭 58～	酪農肉牛部・ ・バイオテクノロジー研究チーム
7. 哺乳動物細胞の乾眠に関する基礎的研究	受 託	令 5～令 7	酪農肉牛部・ バイオテクノロジー研究チーム
8. 市販培地を活用したウシ体外受精卵作出技術の検討Ⅱ	受 託	令 5	酪農肉牛部・ バイオテクノロジー研究チーム
9. 優良種豚供給体制の確立	県 単	平 21～	種豚家きん部・原種豚チーム ・養豚家きんチーム
10. DNA 多型マーカーと家畜の生産形質及び遺伝的疾患との関連に関する研究（豚）	県 単	平 8～	種豚家きん部・原種豚チーム ・養豚家きんチーム
11. 本県産系統豚の能力向上技術の確立	県 単	令 2～令 6	種豚家きん部・原種豚チーム ・養豚家きんチーム
12. イムノシンバイオティクスとDNAマーカーによる豚の腸内環境改善を介する抗病性向上手法の開発事業	受 託	令 3～令 5	種豚家きん部・原種豚チーム ・養豚家きんチーム

## (2) 草地飼料作関係

課 題 名	予算区分	試験期間	担当部・チーム
1. 飼料作物・牧草適応品種の選定	県単受託	昭 57～	草地飼料部・草地飼料チーム
2. 子実用トウモロコシの水田における栽培技術の確立	受 託	令 4～令 5	草地飼料部・草地飼料チーム
3. 気象変動に対応した飼料作物の栽培	県 単	令 3～令 7	草地飼料部・草地飼料チーム
4. 除染後の牧草地における草地管理技術の確立	県単受託	令 5～令 7	草地飼料部・草地飼料チーム ・環境資源チーム
5. 堆肥の利用拡大に向けた「特殊肥料等入り指定混合肥料」の製造及び利用方法の検討	県 単	令 4～令 6	草地飼料部・環境資源チーム

## (3) その他

課 題 名	予算区分	試験期間	担当部・チーム
1. 肉用種雄牛の検定	県 単	昭 55～	酪農肉牛部・肉牛チーム

## Ⅱ 試験研究の紹介



## 1. 乳用牛のベストパフォーマンス発揮に向けた飼養管理手法の確立

乳用牛の繁殖成績の向上及び疾病の予防・早期治療を目的として、ICT 機器等を活用した飼養管理の検証を行った。繁殖成績では ICT 機器を活用することにより受胎率が5%向上したことから、人による発情発見を補助する道具として有効活用できることが考えられた。疾病関係では、活動量を著しく低下させる甚急性乳房炎や起立不能を伴うナックルなどの重篤な疾病の摘発に有効であった。

初乳製剤の給与による子牛の疾病予防及び発育改善効果の検証では、初乳製剤を従来よりも延長して給与することにより、哺乳子牛の増体及び抗病性に及ぼす効果について調査した。その結果、血中 IgG 濃度の低下抑制、疾病の発生件数及び治療日数の低減などから疾病に対する抵抗性を付与している可能性が示唆された。

## 2. DNA多型マーカーと家畜の生産形質及び遺伝的疾患等との関連に関する研究(牛)

SNP データを有する肥育牛を増やしたデータセットを作成し、枝肉重量、ロース芯面積、BMS No. を対象形質として、ssGBLUP 法と GBLUP 法の評価精度の違いを検証した。その結果、ssGBLUP法とGBLUP法の遺伝率は同程度に推定され、相関係数も同程度であった。また、ssGBLUP法を生かすためには、表型値のみを有する肥育牛のデータ数を増やすことが重要と考えられた。

## 3. 黒毛和種牛の肉質差別化指標開発とゲノミック評価手法の高度化による肉質・繁殖能力の改良技術の開発

黒毛和種牛肉の「匂い」等の評価指標開発と遺伝子情報を利用した肉質のゲノミック評価指標を確立するため、和牛肉の官能特性に関連する脂肪酸組成のデータを用い、飼養環境の情報を加味した肉質形質のゲノミック評価手法の確立について検討した。

仙台中央食肉卸売市場で令和5年7月5日に開催された、食肉市場業務開始48周年記念枝肉共進会上場牛の腎周囲脂肪を採材し、併せて食肉脂質測定装置により筋間脂肪の脂肪酸組成を測定した。SNP解析は家畜改良センターにおいて行い、DNA抽出・SNP型判定を実施した。効果の大きなSNPを母数効果として扱う、重みづけGBLUPの一種であるKAML-GBLUP法を用いることで、現行のGBLUP法に比べ、精度が最大6.4%向上した。

## 4. 効率的な黒毛和種種雄牛造成とその活用法に関する研究

種雄牛の造成・選抜には、長い期間と多くの費用を要する。そのため、子牛市場の体尺測定値、食肉市場の産肉成績、さらに体外受精技術を組み合わせることにより、短期で効率的な種雄牛能力評価法について検証した。

現場後代検定第7回次から産肉形質とともに、脂肪の質の育種価推定を行った。候補種雄牛44頭の育種価は、オレイン酸及びMUFAの最大値が+3.18及び+2.75、最小値が-2.98及び-3.72であった。第18回現場後代検定により基幹種雄牛に選抜された3頭のオレイン酸およびMUFAの育種価推定値は、+0.22~-0.66および+0.73~-0.34であった。

牛の体外受精技術により子牛を生産・肥育して産肉成績を調査し、黒毛和種候補種雄牛産肉能力検定の可能性を実証した。

洋久英号の体外受精由来胚からは5頭が生産され4頭の肥育が終了し、平均で枝肉重量423.0kg、BMSNo.9.0、肉質等級A4・A5率は100%であった。絵里波号の体外受精由来胚からは3頭の子牛が生産され、2頭の肥育が終了し平均で枝肉重量550.5kg、BMSNo.9.0、肉質等級A4・A5率は100%であった。

## 5. アグリテック活用推進事業

「仙台牛」の食味やおいしさに関連する脂肪酸組成等について、新たな価値と化学的指標に関する検討を行った。また、遺伝子情報の利用による改良手法を開発するとともに、「仙台牛」の需要・生産の拡大と「仙台牛」の素牛の改良速度向上について検証を実施した。

「仙台牛」の食味特性の探索とその向上については、仙台牛および仙台黒毛和牛のリブローズを用い、牛肉成分のMUFA割合、脂肪含量の違う4つのサンプルについて、嗜好型官能評価を行った。その結果、好ましさに関わる評点については、各サンプル間で有意な差は見られなかったが、ペナルティ分析では「うま味」、「かみ切りやすい」、「こくのある味」などの用語が評点にプラスの影響があった。また、コレスポンデンス分析では、MUFA(62%)が高く脂肪含量(30%)が低いサンプル牛肉は、「こくのある味」、「脂肪の味」、「あっさりとした味」などの官能特性があること、その他のサンプル牛肉もそれぞれの官能特性があることが示された。

ゲノミック評価による新たな形質評価の実用化については、脂肪酸組成を対象としてssGBLUP法とGBLUP法を比較した結果、遺伝率は、いずれの形質においても両手法

でほぼ同程度に推定された。BLUP法との比較による推定精度の検証では、いずれの形質においても両手法で同程度の相関係数が得られた。

ゲノミック評価による肉用牛の改良の加速化については、高能力雌牛からの受精卵移植による改良速度向上を目指し、最適かつ効率的な遺伝子評価の材料の採取方法を検討した。黒毛和種雌牛から経膈採卵で採取した卵子、又は食肉処理場由来卵巣から採取した卵子を用いて体外受精し、体外受精後2~3日で卵割した8細胞期胚を透明帯除去後にピペッティングにより割球を分離しサンプルに供した。サンプルはillumina Bovine LDチップを用いたSNP型判定を行った。SNP解析精度の指標であるCall rateには、細胞数による差は認められなかった。食肉処理場由来の胚盤胞発生率は、通常培養と同程度であったが、品質は良くなかった。受精卵段階で遺伝的能力を識別できれば育種改良に有益であることが示された。

## 6. 牛の受精卵移植技術の実証

牛の受精卵移植技術の高位安定化を図るため、pFSH製剤にヒアルロン酸製剤を添加し、さらにpFSH製剤の皮下および筋肉内の投与方法の違いが過剰排卵処理成績に及ぼす影響について検討した。その結果、過剰排卵処理成績の全ての項目において、有意な差は認められなかったが、正常胚率は筋肉内投与に比べ、皮下投与の方が5%程度高かったことから、後者の方が適していることが明らかとなった。

## 7. 哺乳動物細胞の乾眠に関する基礎的研究

乾燥して体内の大部分の水分を喪失して

も、生存可能な生物は存在することが知られている。極限的な乾燥下でのガラス化は「乾眠」と呼ばれ、乾眠動物は水分が供給されると再び生命活動を開始する。牛をモデルとして精子の乾燥耐性能力を細胞生物学的および物性的に検討し、「乾燥しても生存する細胞」を実現するための研究を行う。フリーズドライ精子を使用し顕微授精することで現在のフリーズドライ技術を再確認し、併せて、顕微授精の活性化処理方法についても検討した。その結果、卵割数および6日目桑実胚割合は、フリーズドライ精子に比べ通常の凍結融解精子による顕微授精の方が有意に高い成績であった。また、胚盤胞の栄養膜細胞数についても凍結融解精子由来の方が有意に多い結果が得られた。

## 8. 市販培地を活用したウシ体外受精卵作出技術の検討Ⅱ

ウシ体外受精に用いる培地作成の省力化を目的として昨年度は市販されている体外受精培地での胚発生成績、耐凍結性、受胎性について検討したところ、卵割率が低いことが明らかとなった。そこで、今年度は卵割率改善による胚発生成績の向上を目的として自作培地と市販培地を組み合わせることが胚発生成績に及ぼす影響について検討した。体外成熟を自作培地に変更すると卵割率は80%以上となるが、胚盤胞率は市販培地で行った場合と同程度となることが明らかとなった。凍結可能な胚盤胞は、市販培地のみで作出した場合、約半数が凍結可能であり質の良い胚盤胞を生産できることが明らかとなった。

以上、卵割率向上を目的に市販培地と自作培地の最適な組み合わせを検討した結果、使用する培地には相性があり、それを間違

うと胚発生率や凍結可能胚生産の低下につながるということが分かった。

## 9. 優良種豚供給体制の確立

国内外の産地間競争に打ち勝ち、養豚主産地としての本県の生産体制を確固たるものにするため、発育性・産肉性及び肉質に優れた系統豚「しもふりレッド（デュロック種）」と繁殖性及び抗病性に優れた系統豚「ミヤギノL2（ランドレース種）」の維持・増殖を行い、県内養豚農家へ配布した。

系統豚しもふりレッドは雄21頭、雌41頭の規模で維持・増殖し、種豚は育成雄17頭、育成雌30頭の合計47頭、家畜人工授精用液状精液は6,340本を県内養豚農家に配布した。系統豚ミヤギノL2は雄9頭、雌21頭の規模で維持・増殖し、育成雌15頭を県内養豚農家に配布した。

今後は、系統豚「ミヤギノL2」及び系統豚「しもふりレッド」の繁殖性・産肉性・抗病性等の特質に配慮しながら維持・増殖を図り、農家の要望に応じた種豚及び家畜人工授精用液状精液の配布を推進する。

## 10. DNA多型マーカーと家畜の生産形質及び遺伝的疾患との関連に関する研究(豚)

ランドレース種系統豚「ミヤギノL2」について、出現する遺伝的疾患や生産形質に関連するといわれるDNAマーカーの多型を調べ、各形質との関連を調査した。

パターン認識受容体NLRP3の一塩基多型とランドレース種系統豚「ミヤギノL2」子豚の発育性の関連を調査したところ、雄では1日平均増体量についてAG型がAA型と比較して優位に高値であった。雌では1日平均増体量について有意差は見られなかったが、GG型>GA型>AA型となる傾向が見

られた。また背脂肪厚については有意に GG 型>GA 型>AA 型となった。NLRP3 遺伝子型間での免疫能の違いについては、出荷豚の肺病変割合が GG 型で 0%、AG 型で 3%、AA 型で 16%となった。また豚サーコウイルス 2 型抗体価 (ELISA 値) では遺伝子型間で有意差は見られなかった。今後は、複数年度にわたって出荷豚の情報を蓄積するとともに、ワクチン抗体価についてはアジュバント別の免疫反応を検討する必要がある。

#### 11. 本県産系統豚の能力向上技術の確立

デュロック種系統豚「しもふりレッド」の優れた肉質を維持しつつ、繁殖能力を向上させる育種改良手法の検討及び飼養管理技術の開発を行った。また、「しもふりレッド」と国内外で生産される豚肉の差別化を図るため、筋肉内脂肪含量以外のおいしさにつながる新たな肉質評価指標を探索した。

「しもふりレッド」の母豚における世代経過や近交度の上昇に伴う遺伝的適応度や遺伝分散への影響については、世代の経過に伴う遺伝的適応度の低下傾向が確認されたものの、近交度の上昇や遺伝分散との関連は確認されなかった。アミノ酸の一種でヘムの前駆物質である 5-アミノレブリン酸を離乳後の子豚へ添加給与したところ、発育成績や血液成分に有意差は認められなかった。また、3 品種 (L 種、D 種、LWD 種) の豚肉から抽出した脂肪について、マウス舌組織由来味蕾細胞の培養培地に添加し、味蕾細胞中の脂肪酸受容体や甘味受容体の発現及び活性を比較したところ、脂肪酸受容体及び甘味受容体の発現が確認され、飽和脂肪酸のうちステアリン酸や LWD 種の脂肪による甘味受容体の活性化が示唆された。

今後は、「しもふりレッド」の子豚の近交

度上昇による繁殖形質への影響を検討するため、生殖細胞核の化学修飾について年齢や世代の経過に伴う変化を調査するほか、哺乳子豚への 5-アミノレブリン酸給与による効果を確認するため、子豚の発育や腸内環境へ及ぼす影響を調査する。また、豚肉から抽出した脂肪について甘味との関連をより詳細に分析し「しもふりレッド」の肉質の特性を明らかにするため、令和 3 年度に行った肥育試験で作出した豚肉について甘味を感じさせるメカニズムを調査する。

#### 12. イムノシンバイオティクスと DNA マーカーによる豚の腸内環境改善を介する抗病性向上手法の開発事業

豚が本来有する免疫能を増強させる飼料添加物の活用及び飼養管理による総合的な抗病性向上手法を確立するため、ワカメ粉末と乳酸菌を子豚へ給与し、子豚の発育や免疫能及び腸内環境に与える影響について検証した。

ランドレース種系統豚「ミヤギノ L 2」の離乳子豚にワカメ粉末及び乳酸菌培養液を給与した結果、発育に影響は認められなかった。また、回腸下部の絨毛陰窩長比では、ワカメ粉末+乳酸菌培養液給与区で他区と比較して有意に高値となった。このことから、ワカメ粉末及び乳酸菌培養液の給与によって飼料要求率が改善され、離乳後の下痢で萎縮した絨毛の回復が促進された可能性が示され、前年度の試験との再現性が得られた。

#### 13. 飼料作物・牧草適応品種の選定

宮城県での栽培における適応性を検討し、成績が優れた品種を選出して奨励品種選定の資料とすることを目的とし生育特性



及び生産性について、調査を行った。

飼料用トウモロコシホールクロップサイレージ用2品種と子実用8品種を対象に生育特性・耐病性及び収量調査を行った。発芽の良否は、標準品種と同等であった。また、雄穂抽出期や雄穂開花期等において各系統の早晚性に応じた結果となった。

イタリアンライグラス2品種について生育特性、収量性を検討した。播種後の根雪期間が発生しない条件下では、「Kyushu1」は、標準品種と比較して、草丈が高く、乾物収量に優れていた。

オーチャードグラス4品種について生育特性、収量性を検討した。極早生品種「まきばゆうか」は標準品種と同程度であったが、中生品種の「きよは」は収量性に優れていた。

#### 14. 子実用トウモロコシの水田における栽培技術の確立

新たな転作作物として子実用トウモロコシを輪作体系に導入するため、水田における栽培技術の確立に向けて検討を行った。

殺虫剤散布試験では、殺虫剤散布により、雌穂への食害、赤カビ被害が低減された。また、排水対策試験では、比較的排水の良い箇所が発育、収量が高い値を示した。

#### 15. 気象変動に対応した飼料作物の栽培

近年の地球温暖化により、気象災害や高温による収量や品質の低下が起きている。そこで、強害雑草の防除と播種時期が遅れた場合の栽培体系について本県における有用性・適応性を検証した。

フロストシーディング（オーチャードグラス）は、今回の気象・ほ場条件下では定着しなかった。また、ワルナスビは選択制

除草剤及びスーダングラス被陰によって、それぞれ抑制されたが秋季9月の段階で一定数生育が認められた

#### 16. 除染後の牧草地における維持管理技術の確立

放射性セシウム（以下RCs）に汚染された草地において、除染後も暫定許容値を超えるRCsが検出される要因を解析するとともに、RCs吸収抑制対策のカリなどの土壌成分を効率的に回復させる施肥方法について検討した。

施肥法と牧草中のRCs、ミネラルバランスに及ぼす効果の検討については、土壌中カリウム含量が高く、緩効性カリ施肥やゼオライト施用による効果は確認できなかった。

除染後牧草地の維持管理技術の確立については、化成肥料の施肥は、牧草増収により土壌中カリの持出し量も増えるため、土壌中カリ濃度がより減少すると推察されることから牧草中のRCsの上昇に留意が必要であり、カリの吸収が穏やかな堆肥の効率的活用が、適切な肥培管理をすすめるために有効と考えられた。

#### 17. 堆肥の利用拡大に向けた「特殊肥料等入り指定混合肥料」の製造及び利用方法の検討

家畜ふん尿堆肥の利用促進のため、広く利用希望者のニーズに合う、取り扱いやすい新肥料としての堆肥の試作とその肥効等の調査研究を実施した。

混合肥料の肥料原料・加工法の違いによる保管時の品質や土壌埋設時の溶出成分、牧草の収量に大きな差はなかった。加美町で堆肥と緩効性肥料を混合した指定混合肥

料が販売され、現地でのソラマメ等の実証試験では慣行施肥区と比較し、初期生育が劣るものも見られたが散布時間・収量は同程度であった。

## 18. その他

### 肉用種雄牛の検定

肉用牛の経済能力を改良するため、優れた遺伝能力を備えた種雄牛を造成する。このため、交配する繁殖雌牛群の整備、計画交配、候補牛の選定、産肉能力直接検定及び現場後代検定を実施し、能力による選抜を行った。

新たな基幹種雄牛として、「絵里波」号、「勝茂桜」号を選抜し、凍結精液の配布を開始した。県内畜産農家に対して当场に繋養している基幹種雄牛の凍結精液を約2万本供給した。また、直接検定成績から新たに候補種雄牛を4頭選抜し、現場後代検定に向けて調整交配を開始した。

### Ⅲ 研究発表、広報、普及活動および研修等



## 1. 職員の研究発表一覧

### (1) 論文

題 名	発 表 者	誌 名	巻号頁	年 月
[酪農肉牛部] Application of linear and machine learning models to genomic prediction of fatty acid composition in Japanese Black cattle	Motohide Ni shio, Keiichi Inoue, Aisaku Arakawa, Kasumi Ichinoseki, Eiji Kobayashi, Toshihiro Okamura, Yo Fukuzawa, Shinichiro Ogawa, Masaaki Taniguchi, Mika Oe, Masayuki Takeda, Takehiro Kamata, Masaru Konno, <u>Michihiro Takagi</u> , Mario Sekiya, Tamotsu Matsuzawa, Yoshinobu Inoue, Akihiro Watanabe, Hiroshi Kobayashi, Eri Shibata, Akiyumi Ohtani, Ryu Yazaki, Ryotaro Nakashima, Kazuo Ishii	Animal science journal	Volume 94 Issue 1 e13883	2023.11

### (2) 口頭発表

題 名	発 表 者	会 名	発表年月日及び場所	発表誌等
[草地飼料部] 機能性を追求した混合堆肥複合肥料の利用方法の検討	荒木利幸	第72回東北畜産学会岩手大会	2023. 8.29 ～30 岩手大学	東北畜産学会報 2023 VOL. 73 No. 2 P10

### (3) 雑 誌 等

題 名	発 表 者	誌 名	巻 号 頁	発行年月
[酪農肉牛部] 第 18 回現場後代検定成績	千葉正典	畜産みやぎ	第 321 号 p10	2023. 8
宮城県基幹種雄牛の「脂肪の質」能力について	佐々木孔亮	畜産みやぎ	第324号 p10	2024. 1
[種豚家きん部] 宮城県養豚研究会研究集会 令和 5 年度第 1 回開催報告	庄司宙希	畜産みやぎ	第 322 号 p6	2023. 10
宮城県養豚研究会研究集会 令和 5 年度第 2 回開催報告	庄司宙希	畜産みやぎ	第 325 号 p10	2024. 4
[草地飼料部] 新しい飼料作物奨励品種の紹介	杉本達郎	畜産みやぎ	第 323 号 p7	2023. 5
子実用トウモロコシ収穫実演会開始報告	杉本達郎	畜産みやぎ	第 323 号 p8	2023. 11

### 2. 広報・普及活動（講習会・研修会）

題 目	講 師	主 催 者	開催年月日	開催場所	参加人数
令和 5 年度宮城県家畜人工授精師協会大崎支部講習会	小宮亮太	宮城県家畜人工授精師協会大崎支部	2023. 11. 20	みやぎ総合家畜市場	23 人
畜産講習会	佐々木孔亮	JA新みやぎ肥育牛部会南三陸支部	2023. 12. 18	畜産試験場	8 人
R060112 肉牛担い手「Revolutions」・繁殖牛担い手「NEXT」意見交換会	佐々木孔亮	全農みやぎ	2023. 12. 19	グランド平成	125 人
令和 5 年度乳用牛群検定指導強化事業 酪農指導者研修会	福田純子 荒木利幸	畜産課	2023. 12. 15	仙台市	25 人

令和5年度宮城県獣医師会大崎支部体験発表会	福田純子	宮城県獣医師会大崎支部	2024.1.19	大崎市	20人
令和5年度子実用とうもろこし生産拡大に向けた成績検討会	杉本達郎	涌谷町	2024.1.19	涌谷町	62人
宮城県家畜人工授精師協会遠田支部令和5年度講習会	小宮亮太	宮城県家畜人工授精師協会遠田支部	2024.2.19	みやぎ総合家畜市場	27人
令和5年度大崎和牛改良組合保留牛育成研修会	佐々木孔亮	大崎和牛改良組合	2024.3.19	みやぎ総合家畜市場	30人

### 3. 会議関係

会議名	出席者	参集範囲	開催月日	開催場所
[全体] 令和5年度東北農業試験研究推進会議・畜産飼料作推進部会冬期研究会	石川知浩・庄司宙希・天野祐敏・杉本達郎	東北農業研究センター・東北6県	2024.1.30 ～31	農研機構東北農業研究センター盛岡研究拠点
令和5年度第68回宮城県家畜保健衛生業績発表会	小宮亮太 庄司宙希 杉本達郎	宮城県	20.24.2.2	県庁
[酪農肉牛部] 「黒毛和種の肉質差別化指標開発とゲノミック評価手法の高度化による肉質・繁殖能力の改良技術の開発」に係る令和5年度設計検討会	小宮亮太	農研機構、公設試	2023.5.9	Web参加
令和5年度日本中央競馬会畜産振興事業 乳牛の乳房炎発症予防手法開発事業 第1回開発推進評価会議	福田純子	東北大学、農研機構、公設試	2023.6.20	東北大学 (Web参加)
令和5年度乳用牛改良推進ブロック会議	浅野貴史	乳用牛改良推進協議会、公設試、その他	2023.9.7	仙都会館

令和5年度牛群検定推進ブロック会議	浅野貴史	乳用牛改良推進協議会、公設試、その他	2023. 9. 8	仙都会館
食肉・鶏卵・乳製品の官能評価ワークショップ	佐々木孔亮	農研機構、公設試、他	2023. 11. 16 ～17	農研機構畜産研究部門
国際競争力強化技術開発プロジェクトに係る講習会	小宮亮太	農研機構、公設試、他	2024. 1. 25	Web 参加
令和5年度牛群検定推進ブロック会議	福田純子	乳用牛改良推進協議会、公設試、他	2024. 2. 14	AP 東京八重洲
令和5年度効率的胚生産技術および雌雄産み分け技術共同試験に係る最終検討会	佐藤秀俊	宮城県 茨城県 神奈川県 奈良県 宮崎県 栃木県ほか 全20場所	2024. 2. 15 ～2. 16	栃木県主催
令和5年度日本中央競馬会畜産振興事業 乳牛の乳房炎発症予防手法開発事業第3回開発推進評価会議	福田純子	東北大学、農研機構、公設試、他	2024. 2. 28	東北大学 (Web 参加)
令和5年度受精卵移植関連新技術全国会議	及川俊徳 佐藤秀俊	全国	2023. 3. 14	家畜改良センター主催 (Web 参加)
令和5年度日本中央競馬会畜産振興事業 第3回実証試験担当者会議	福田純子	東北大学、農研機構、公設試、他	2024. 3. 18	東北大学
[種豚家きん部] 令和5年度豚の新育種技術に関する研究会	曾地雄一郎 松尾賢吾	農研機構、日本養豚協会、農林水産省、家畜改良センター、公設試、大学、民	2023. 7. 6～7	文部科学省研究交流センター国際会議場



		間種豚場		
食肉・鶏卵・乳製品の官能評価ワークショップ	庄司宙希	農研機構、公設試	2023.11.16~17	農研機構畜産研究部門
しもふりレッド等銘柄推進連絡会議	中條満 庄司宙希	宮城県、他	2023.12.13	宮城県 県庁
[草地飼料部]				
自給飼料生産総合推進事業に係る担当者会議	天野祐敏 杉本達郎	宮城県	2023.4.14	宮城県 自治会館
宮城県牧草地再除染対策チーム会議	天野祐敏 杉本達郎	宮城県	2023.4.14	宮城県 自治会館
「特定復興再生拠点区域等の円滑な営農再開に向けた技術実証」小課題3-2 計画検討会	天野祐敏	農研機構、4県	2023.4.20	農研機構畜産研究部門 (Web 参加)
「子実用とうもろこしを導入した高収益・低投入型大規模部六ローテーション構築プロジェクト」第1回推進会議	天野祐敏 杉本達郎	農研機構、2県、東北大、全農、他	2023.7.10	宮城県 古川農業試験場
「特定復興再生拠点区域等の円滑な営農再開に向けた技術実証」中間検討会	天野祐敏	福島国際研究教育機構農研機構、4県	2023.10.2	福島市 コラッセ福島
令和5年度畜産環境シンポジウム	荒木利幸	全国	2023.10.12	東京都 農林水産省(Web 参加)
飼料作物等高能力新品種選定会議(東北・北陸・甲信越ブロック)	天野祐敏 杉本達郎	東北・北陸・甲信越	2023.11.18	宮城県 仙台市内
「子実用とうもろこしを導入した高収益・低投入型大規模部六ローテーション構築プロジェクト」第2回推進会議	天野祐敏 杉本達郎	農研機構、2県、東北大、全農、他	2023.12.20	岩手県 東北農業研究センター (Web 参加)

「特定復興再生拠点区域等の円滑な営農再開に向けた技術実証」小課題3-2 成果検討会	天野祐敏	農研機構、4 県	2024. 1. 11	農研機構畜産研究部門 (Web 参加)
国内肥料資源の利用拡大に向けたマッチングフォーラム in 東北	荒木利幸	東北	2024. 1. 31	宮城県 夢メッセみやぎ
「特定復興再生拠点区域等の円滑な営農再開に向けた技術実証」成績検討会	天野祐敏	福島国際研究教育機構農研機構、4 県	2024. 2. 7 ~ 8	福島県 コラッセ福島
宮城県飼料作物奨励品種等選定協議会		宮城県	2024. 2	書面開催
新稲作研究会成績検討会	天野祐敏	全国	2024. 3. 1	東京都中央区
令和5年度家畜ふん尿処理利用研究会	荒木利幸	全国	2024. 3. 6	茨城県 農研機構畜産研究部門内 (Web 参加)
自給飼料生産総合推進事業及び飼料価格高騰対策支援事業に係る飼料作物展示ほ成績検討会	天野祐敏 杉本達郎	宮城県	2024. 3. 8	宮城県 県庁
第2回宮城県牧草地再除染チーム会議	天野祐敏 杉本達郎	宮城県	2024. 3. 8	宮城県 県庁
令和5年度畜産堆肥流通体制支援事業に係る普及説明会	荒木利幸	全国	2024. 3. 12	東京都 トラストシティ カンファレンス・神谷町

#### 4. 出版物

出 版 物 名	発行年月
令和4年度宮城県畜産試験場試験成績書	2024. 2
令和4年度宮城県畜産試験場業務年報	2024. 2
宮城県黒毛和種種雄牛案内 2024	2024. 3

## 5. 研 修

主催機関名	研修名	受講者	期間	開催場所
[酪農肉牛部] 独立行政法人家畜改良 センター	家畜DNA解析技術者 研修	小宮亮太	2023. 10. 16～27	福島県西郷村
農林水産省	令和5年度中央畜産技 術研修（畜産統計処 理）	佐々木孔亮	2024. 1. 15～19	福島県西郷村
全農みやぎ	ウシ肉質超音波診断技 術講習会	佐々木孔亮	2024. 1. 31～2. 3	宮崎大学農学 部
[草地飼料部] 農林水産省	令和5年度中央畜産技 術研修（国産飼料）	杉本達郎	2024. 2. 6～8	福島県西郷村

## 6. 普及に移す技術, 参考資料

[発刊号] 普及に移す技術第99号

課 題 名	技術分類	部 門
1 新しい基幹種雄牛「勝茂桜」 <small>かつしげざくら</small>	普及技術	家 畜
2 新しい基幹種雄牛「絵里波」 <small>えりなみ</small>	普及技術	家 畜

## 7. 畜産試験場成果報告会

2023年3月8日開催 参加者25名(Web併用開催)

題 名	発表者
1 新しい基幹種雄牛「勝茂桜」号及び「絵里波」号	佐々木孔亮
2 牛肉の脂肪酸組成について	小宮亮太
3 Toll様受容体5遺伝子の一塩基多型がランドレース種の発育や免疫に与える影響	松尾賢吾
4 5-アミノレブリン酸の飼料添加が豚の発育、血液成分、腸内細菌叢に及ぼす影響	曾地雄一郎
5 子実用トウモロコシの水田における栽培技術の確立	杉本達郎
6 堆肥の利用拡大に向けた「指定混合肥料」について	荒木利幸



## IV 業務の概要





# 1. 家畜の飼養状況

## (1)牛

区 分			期 首 頭 数	受 入					計
				生 産	購 入	分 類 換	管 理 換	そ の 他	
乳牛	ホルスタイン種	成 牛	39	0	0	33	0	0	33
		子 牛	34	40	0	0	0	0	40
肉牛	黒毛和種	種 雄 牛	27	0	0	0	3	0	3
		肥育試験牛	0	0	0	2	0	2	
		そ の 他	0	0	0	0	0	0	
	黒毛和牛 (供卵牛)	成 牛	29	0	0	0	0	0	0
		子 牛	2	3	0	0	0	3	
計	ホルスタイン種	成 牛	39	0	0	33	0	0	33
		子 牛	34	40	0	0	0	0	40
	黒毛和牛	成 牛	56	0	0	0	5	0	5
		子 牛	2	3	0	0	0	0	3
合 計			131	43	0	33	5	0	81

## (2)豚

区 分	性	期 首 頭 数	受 入					計
			生 産	購 入	分 類 換	管 理 換	そ の 他	
成 豚	雄	28	0	0	4	0	0	4
	雌	62	0	0	9	0	0	9
子 豚	雄	199	524	0	0	0	0	524
	雌	212	470	0	0	0	0	470
合 計		501	994	0	13	0	0	1007



(令和6年3月31日現在)

払 出								期 末 頭 数
売 却	廃 用	と 殺	へい死	分類換	管理換	その他	計	
9	0	0	0	0	0	6	15	57
16	0	0	0	33	0	1	50	24
3	0	0	0	0	0	1	4	26
0	0	0	0	0	0	0	0	2
0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	3	0	0	0	0	0	3	26
2	0	0	0	0	1	0	3	2
9	0	0	0	0	0	6	15	57
16	0	0	0	33	0	1	50	24
3	3	0	0	0	0	1	7	54
2	0	0	0	0	1	0	3	2
30	3	0	0	33	1	8	75	137

払 出								期 末 頭 数
配布 (種豚)	配布 (肉豚)	廃用 (出荷)	へい死 (淘汰)	分類換	管理換	その他	計	
0	0	5	0	0	0	0	5	27
0	0	12	2	0	0	0	14	57
17	133	250	149	4	0	0	553	170
44	59	201	204	9	0	0	517	165
61	192	468	355	13	0	0	1089	419

## 2. 飼養種畜名簿

### (1) 種雄牛

名号○印は基幹種雄牛

品 種	名 号	登 録 番 号	生年月日	産 地
黒毛和種	○ 茂 洋 美	黒 原 5 5 8 7	H23. 2. 28	〃
〃	○ 洋 糸 波	黒 原 5 5 8 6	H23. 3. 23	〃
〃	○ 茂 福 久	黒 原 5 8 3 7	H24. 12. 25	〃
〃	○ 平 勝 美 (宮城)	黒 原 5 8 3 9	H25. 4. 9	〃
〃	○ 臯 月 彰	黒 原 5 8 4 0	H25. 5. 1	〃
〃	○ 好 久 勝	黒 原 6 0 3 1	H26. 9. 9	〃
〃	○ 勝 美 桜 1	黒 原 6 1 0 4	H28. 2. 14	〃
〃	○ 安 百 合 幸	黒 原 6 1 0 6	H28. 6. 15	〃
〃	○ 勝 秀 好	黒 1 5 3 3 1	H27. 8. 22	〃
〃	○ 昭 光 茂	黒 原 6 2 0 9	H29. 3. 24	〃
〃	柳 桜	黒 原 6 2 8 1	H29. 9. 21	〃
〃	洋 久 英	黒 原 6 2 8 0	H29. 8. 10	〃
〃	○ 絵 里 波	黒 原 6 2 8 2	H30. 4. 20	〃
〃	○ 勝 茂 桜	黒 原 6 2 8 3	H29. 11. 20	〃
〃	百 合 博	黒 原 6 3 6 0	H30. 12. 25	〃
〃	雅 糸 波	黒 原 6 3 6 1	H31. 1. 24	〃
〃	孝 糸 波	黒 原 6 3 6 2	R 1. 5. 22	〃
〃	茂 勝 久	黒 原 6 2 6 3	R 1. 6. 5	〃
〃	勝 美 雷	黒 原 6 4 3 7	R 1. 9. 6	〃
〃	華 福 久	黒 原 6 4 3 8	R 2. 5. 1	〃
〃	達 福 久	黒 原 6 4 3 9	R 2. 1. 14	〃
〃	茂 花 美	黒 原 6 4 4 0	R 2. 5. 5	〃
〃	咲 太 郎	黒 原 6 5 1 2	R 3. 1. 17	〃
〃	勝 姫 桜	黒 原 6 5 1 3	R 3. 3. 10	〃
〃	幸 勝 吉	黒 原 6 5 1 4	R 2. 11. 15	〃
〃	洋 糸 花	黒 原 6 5 1 5	R 3. 5. 6	〃
〃	誠 平 勝	黒 原 6 5 1 6	R 3. 5. 30	〃
〃	照 百 合 幸	黒 原 6 2 8 1	H29. 9. 21	〃
〃	利 茂 福	黒 原 6 2 8 0	H29. 8. 10	〃
〃	美 百 合 幸	黒 原 6 5 1 3	R 3. 3. 10	〃

血		統	体格得点	備 考
父		母		
茂	洋	と も み	85.2	廃用 (R5. 8. 25)
茂	洋	きくつる	85.3	
茂	勝	ひ さ こ	84.8	
忠	勝 美	な な え	85.0	廃用 (R5. 8. 25)
安	平 勝	ふ く み	82.9	
好	平 茂	ひめかつ	85.3	
勝	洋	ゆ う こ	85.5	
百 合	茂	や す こ	83.3	
好	平 茂	つ ば さ	81.6	
好	平 茂	ふくゆりこ	85.5	
勝	早 桜 5	か お り	84.4	廃用 (R5. 8. 9)
勝	洋	ひ さいし	84.1	廃用 (R5. 8. 25)
洋	糸 波	え り こ	83.8	基幹種雄牛へ選抜 (R5. 6. 5)
勝	早 桜 5	か ま ふ く	83.4	基幹種雄牛へ選抜 (R5. 6. 5)
茂	洋 美	ゆりひろ	84.6	
洋	糸 波	きたつるこ	84.1	
洋	糸 波	み く	84.6	
茂	福 久	かつひら	84.0	
洋	糸 波	な な み	84.5	
茂	福 久	ふ ゆ こ	84.4	
茂	福 久	ひ さ ゆ り	83.0	
茂	洋 美	はなこ44	83.0	
茂	福 久	さ く ら	83.6	
茂	福 久	かつひめ	83.0	
茂	洋 美	り こ	84.5	
洋	糸 波	つ ば き	84.4	
平 勝 美 (宮城)		な な ひ さ	85.3	
安 百 合 幸		みつひこ	84.5	管理替 (R5. 5. 15)、美国幸より名号変更 (R6. 1. 31)
茂 福 久		としひろ	83.0	管理替 (R5. 5. 15)、山沢 15 より名号変更 (R6. 1. 31)
安 百 合 幸		みきさくら	84.1	管理替 (R5. 5. 15)、安照重より名号変更 (R6. 1. 31)

## (2) 種雌牛

品 種	名 号	登 録 番 号	生年月日	産 地
黒毛和種	み い な	黒 原 1519880	09. 9. 20	宮城県
〃	れ ん	黒 2388621	10. 2. 27	〃
〃	す ず ね	黒 2487339	14. 2. 18	〃
〃	た だ こ	黒 原 1363350	05. 12. 6	〃
〃	ひ さ い し	黒 2190733	04. 9. 7	〃
〃	け い こ	黒 原 1612021	12. 5. 16	〃
〃	ひ ろ ひ ろ	黒 原 1392443	06. 9. 6	〃
〃	は な か つ	黒 2277292	06. 9. 19	〃
〃	こまはなやす6	黒 高 218038	09. 6. 8	〃
〃	みつひめかつ	黒 原 1599875	12. 5. 1	〃
〃	も み じ	黒 原 1735550	16. 12. 11	宮崎県
〃	う め こ	黒 2588951	17. 1. 4	〃
〃	ゆ み こ	黒 原 1441502	07. 9. 3	宮城県
〃	か つ こ	黒 原 1436628	07. 11. 2	〃
〃	き た つ る こ	黒 原 1472726	08. 10. 26	〃
〃	し ろ い し	黒 原 1601887	12. 5. 23	〃
〃	え み こ	黒 高 221534	11. 7. 10	〃
〃	ぜ ん こ う 1	黒 2492299	14. 7. 25	〃
〃	い わ 27 の 41	黒 原 1712043	16. 3. 23	〃
〃	し げ ひ さ	黒 2588962	16. 8. 4	〃
〃	い わ 28 の 49	黒 原 1744261	17. 3. 13	〃
〃	な つ み か ん	黒 原 1766861	17. 7. 31	〃
〃	い わ 30 の 1	黒 原 1775155	18. 4. 4	〃
〃	ひ ろ ひ め	黒 2657291	18. 5. 25	〃
〃	ま ゆ こ	黒 原 1819986	19. 8. 26	〃
〃	い わ 31 の 25	黒 2713294	19. 9. 16	〃
〃	か よ こ 3	黒 原 1839675	20. 5. 28	〃
〃	か り ん	黒 2786183	20. 12. 22	〃
〃	い わ 21 の 48	黒 原 1519879	09. 11. 7	〃
〃	い わ 22 の 27	黒 原 1554016	10. 9. 1	〃
〃	い わ 25 の 34	黒 原 1659058	14. 2. 9	〃
〃	い わ 27 の 26	黒 原 1703732	15. 10. 2	〃

血 統		体格得点	備 考
父	母		
茂 洋	あやめ10のえい	80.7	
茂 洋	ふ く は	79.7	
茂 洋	いわ22の27	79.6	
勝 忠 平	し ず こ	80.7	廃用
安 福 久	みやひろし	80.4	廃用
茂 洋	な つ こ	81.2	
茂 勝	ひらぎく	83.0	
勝 忠 平	きよたみ	82.0	
安 福 久	はなきたぐに	81.5	
勝 忠 平	みつひめ	82.1	
美 穂 国	も な か	81.6	
耕 富 士	び い ち	83.0	
勝 忠 平	ま ゆ み	81.1	
勝 忠 平	ひらくら	83.3	廃用
安 糸 福	きたつるしげ	81.7	
安 茂 勝	な み せ い	81.1	
茂 洋	え つ こ	—	
花 清 国	ぜんこう167	82.0	
安 福 久	かめただ425	81.0	
茂 洋	ひ さい し	79.6	
美 津 照 重	いわ21の11	81.5	
茂 洋	な つ み	81.4	
金 太 郎 3	け い こ	82.0	
洋 糸 波	みつひめかつ	79.8	
茂 福 久	ゆ み こ	82.2	
茂 福 久	も み じ	82.1	
金 太 郎 3	け い こ	82.5	
花 茂 桜	す ず ね	80.6	
茂 洋	や す こ	80.0	
安 福 久	ふ じ こ	80.4	
安 福 久	かめただ425	82.0	
好 平 茂	ひ さい し	81.3	

## (3) 乳用種

	場No.	品種	名号	登録番号	生年月日	産地
1	185	ホルスタイン種	ミヤチクシ チェリー ノマト	1475745212	H27. 9. 15	宮城県
2	203	〃	ミヤチクシ モーニング スター	1498745671	H29. 4. 4	〃
3	205	〃	ミヤチクシ ニセコヌブリ サクラ	1498745695	H29. 4. 19	〃
4	206	〃	ミヤチクシ エティ エルダ	1498745701	H29. 5. 12	〃
5	207	〃	ミヤチクシ フォレスト エティ	1498745732	H29. 7. 13	〃
6	208	〃	ミヤチクシ ナイト トム	1498745800	H29. 9. 5	〃
7	209	〃	ミヤチクシ レティスマナー スイタイ	1498745817	H29. 9. 7	〃
8	210	〃	ミヤチクシ オーシャンク ラブ	1498745831	H29. 9. 15	〃
9	211	〃	ミヤチクシ スイート アナ	1498745855	H29. 9. 20	〃
10	213	〃	ミヤチクシ スイート シャルル	1498745886	H29. 11. 11	〃
11	214	〃	ミヤチクシ ハラタ イシ シグナル	1556345959	H30. 1. 9	〃
12	217	〃	ミヤチクシ ナイアキラ ティーウェーブ	1568346050	H30. 4. 14	〃
13	219	〃	ミヤチクシ テコレット レティシヨー	1577846152	H30. 6. 3	〃
14	220	〃	ミヤチクシ プラネット リオン	1577846220	H30. 8. 9	〃
15	222	〃	ミヤチクシ スター コゼット	1577846282	H31. 1. 28	〃
16	223	〃	ティフエント ラハンカート ET	1577846305	H31. 2. 7	〃
17	224	〃	ミヤチクシ モントレー トム	1577846336	R1. 5. 14	〃
18	225	〃	ミヤチクシ テコレット リリー	1577846343	R1. 5. 15	〃
19	226	〃	ミヤチクシ レティスマナー オーシャン	1576946365	R1. 6. 3	〃
20	227	〃	ミヤチクシ スター スター	1576946372	R1. 6. 6	〃
21	228	〃	ミヤチクシ モントレー マウイ エルダ	1576946389	R1. 6. 18	〃
22	229	〃	ミヤチクシ シグナル エルサ	1576946396	R1. 6. 27	〃
23	1	〃	ミヤチクシ スター スイタイ	1576946433	R1. 8. 8	〃
24	2	〃	ハンカシー ナイト トム	1576946440	R1. 8. 25	〃
25	4	〃	ミヤチクシ マツハ ハンビーナ	1576946518	R1. 9. 8	〃
26	5	〃	ミヤチクシ フェイス レティ	1576946549	R1. 9. 27	〃
27	6	〃	リリーヒル マツクスノマト シュクリン	1576946570	R1. 11. 2	〃
28	8	〃	ミヤチクシ ウェラーノ シグナル	1382446714	R2. 2. 26	〃
29	9	〃	ミヤチクシ ウェラーノ エルサ	1382446721	R2. 3. 3	〃
30	10	〃	ミヤチクシ チェリー ウェラーノ	1382446745	R2. 3. 9	〃
31	11	〃	ミヤチクシ ハリツシュ ファットホーイ	1382446783	R2. 3. 31	〃
32	12	〃	ミヤチクシ モーニング ウェラーノ	1382446806	R2. 5. 8	〃
33	13	〃	ミヤチクシ ウェルカム オーシャン	1382446844	R2. 6. 16	〃
34	14	〃	ミヤチクシ スファイター トム	1382446851	R2. 6. 17	〃
35	15	〃	ミヤチクシ ナイト スファイター	1382446875	R2. 7. 20	〃
36	16	〃	ミヤチクシ シェニー ハウエル	1382446899	R2. 8. 5	〃
37	17	〃	ミヤチクシ ファットホーイ サクラ	1382446905	R2. 8. 20	〃
38	18	〃	ミヤチクシ フォレスト スファイター	1631947009	R3. 1. 5	〃
39	19	〃	ミヤチクシ ナイアキラ フリスキー	1632747028	R3. 1. 18	〃

血統		体格 得点	備考
父名号	母名号		
ノースエリー KS ワールド ET	ミヤチクシ HEF ノマト	86	
モーニングビュー SHTL ソクラテス ET	ミヤチクシ スター ミリオン	79	R5. 5. 30 廃用出荷
モーニングビュー SHTL ソクラテス ET	ミヤチクシ ニセコヌプリ ムツチ	80	R5. 5. 30 廃用出荷
オムラ スイート エター ET	ミヤチクシ エルダ トリーム	84	
オムラ スイート エター ET	ミヤチクシ フォレスト トム		
リリーヒル プラネット シュークリン ET	ミヤチクシ リリー トム		
テイユー レディースマナー ショーシア	ミヤチクシ フレツト スイーター	87	
WHG オーシャンック ショビアン ET	ミヤチクシ マツクスノマト ラブ	83	R5. 8. 10 廃用出荷
オムラ スイート エター ET	ミヤチクシ レディウエーブ アナ	81	R5. 8. 2 死亡
オムラ スイート エター ET	ミヤチクシ シヤルル ラブ ラトル	81	
TLM テコレット シグナル	ミヤチクシ ハラタ イス クリスタン	81	R5. 11. 2 死亡
レイバー ナイアグラ パリツシュ ET	ミヤチクシ ティーウエーブ ハラタ イス	83	
TLM テコレット シグナル	ミヤチクシ フリスキー レディショ	80	R5. 8. 2 死亡
リリーヒル プラネット シュークリン ET	ミヤチクシ ムツク リオン	80	R5. 8. 10 廃用出荷
ベイツチラント スターン ハウエル ET	ミヤチクシ フラックスノマト コゼツト	80	R5. 12. 20 廃用出荷
コムスター ラバンガード ET	ティフエント メリッシュエン ファースト リー ET	81	
ストレチア モントレー マウイ デイン	ミヤチクシ リリー トム	81	
TLM テコレット シグナル	ミヤチクシ シエニ リリー ET	78	
テイユー レディースマナー ショーシア	ミヤチクシ リリー オーシャン	82	
ベイツチラント スターン ハウエル ET	ミヤチクシ モーニング スター	83	
ストレチア モントレー マウイ デイン	ミヤチクシ エター エルダ	80	
TLM テコレット シグナル	ミヤチクシ テスクショ エルサ	86	
ベイツチラント スターン ハウエル ET	ミヤチクシ フレツト スイーター	80	
ハンカシーン CCM ウェラーノ	ミヤチクシ ナイト トム		
JC マツハ バンビーナ	ミヤチクシ ローズ プラツシュ	78	R5. 12. 20 廃用出荷
テイユー フェイス ファットボーイ	ミヤチクシ エントレス レディ	84	
リリーヒル プラネット シュークリン ET	ミヤチクシ マツクスノマト ラブ	81	
ハンカシーン CCM ウェラーノ	ミヤチクシ ハラタ イス シグナル		R5. 2. 13 廃用出荷
ハンカシーン CCM ウェラーノ	ミヤチクシ テコレット エルサ	78	
ハンカシーン CCM ウェラーノ	ミヤチクシ チェリー ノマト	80	R5. 11. 2 死亡
テイユー フェイス ファットボーイ	ミヤチクシ ハリツシュ エルダ	80	
ハンカシーン CCM ウェラーノ	ミヤチクシ モーニング スター		
MFD ウェルカム スパイダー ET	ミヤチクシ オーシャン フリスキー	80	R5. 8. 24 廃用出荷
MFD ウェルカム スパイダー ET	ミヤチクシ リリー トム	85	
MFD ウェルカム スパイダー ET	ミヤチクシ ナイト トム	84	
ベイツチラント スターン ハウエル ET	ミヤチクシ シエニ リリー ET		
テイユー フェイス ファットボーイ	ミヤチクシ ニセコヌプリ サクラ	80	
MFD ウェルカム スパイダー ET	ミヤチクシ フォレスト エター		
レイバー ナイアグラ パリツシュ ET	ミヤチクシ フリスキー レディショ	83	

	場No.	品種	名号	登録番号	生年月日	産地
40	20	〃	ミヤチクシ フルースト フェイス	1632747059	R3. 2. 12	〃
41	21	〃	ミヤチクシ タイムアウト テコレット	1632747110	R3. 4. 4	〃
42	22	〃	ミヤチクシ タイムアウト テイウエーブ	1632747134	R3. 4. 10	〃
43	23	〃	ミヤチクシ ウインサマナー モントレー	1632747158	R3. 4. 19	〃
44	24	〃	ミヤチクシ クリスタン アリー	1626747225	R3. 6. 15	〃
45	25	〃	ミヤチクシ ファツトホーイ ミリオン	1626747270	R3. 8. 10	〃
46	26	〃	ミヤチクシ シェラルト フラッシュ	1626747287	R3. 8. 19	〃
47	27	〃	ミヤチクシ ハラツク トリーム ET	1626747294	R3. 9. 8	〃
48	28	〃	ミヤチクシ ワールド エルン	1626747331	R3. 9. 29	〃
49	29	〃	ミヤチクシ ニセコヌプリ シェラルト	1626747348	R3. 10. 25	〃
50	30	〃	ミヤチクシ シェラルト フリスキー	1626747379	R3. 11. 21	〃
51	31	〃	ミヤチクシ ヘンカシーン エミツ ET	1626747386	R3. 12. 8	〃
52	32	〃	ミヤチクシ シェラルト セルシアス	1626747393	R3. 12. 19	〃
53	33	〃	ミヤチクシ エミツ エレン ET	1626747409	R3. 12. 24	〃
54	34	〃	ミヤチクシ アプリ エマ	1626747416	R4. 1. 6	〃
55	35	〃	ミヤチクシ エルサ トロリツチ	1626747461	R4. 2. 4	〃
56	36	〃	ミヤチクシ エルダ サンダーハート	1626747485	R4. 2. 28	〃
57	37	〃	ミヤチクシ エルダ シェラルト	1626747508	R4. 3. 13	〃
58	38	〃	ミヤチクシ トム エミツ ET	1626747553	R4. 4. 20	〃
59	39	〃	ミヤチクシ サクラ トロリツチ	1626747560	R4. 5. 1	〃
60	40	〃	ミヤチクシ エルサ リフレクター	1626747584	R4. 6. 16	〃
61	41	〃	ミヤチクシ クリスタン リフレクター	1626747614	R4. 7. 2	〃
62	42	〃	ミヤチクシ トロリツチ フレツト	1626747621	R4. 7. 2	〃
63	43	〃	ミヤチクシ リリー タイムアウト	1626747638	R4. 7. 8	〃
64	44	〃	ミヤチクシ ニセコヌプリ エイヴーET	1626747645	R4. 7. 30	〃
65	45	〃	ミヤチクシ チェリー エクリプス	1626747683	R4. 8. 17	〃
66	46	〃	ミヤチクシ フリスキー リフレクター	1626747706	R4. 8. 23	〃
67	47	〃	ミヤチクシ ナイト トロリツチ	1391947745	R4. 10. 30	〃
68	48	〃	ミヤチクシ シェニー エミツ ET	1391947752	R4. 11. 5	〃
69	49	〃	ミヤチクシ シェニー エミツ リリー ET	1391947837	R4. 12. 15	〃
70	50	〃	ミヤチクシ アリー テイウエーブ	1391947882	R5. 2. 27	〃
71	51	〃	ミヤチクシ エイヴー トム ET	1391947905	R5. 3. 12	〃



血統		体格 得点	備考
父名号	母名号		
テイユー フェイス ファツトホーイ	ミヤチクシ フルースト リリー		
テインカーヘル タイムアウト ET	ミヤチクシ テコレット エルサ		
テインカーヘル タイムアウト ET	ミヤチクシ ナイアグラ テイウエーブ		R5. 2. 13 廃用出荷
ウインザーマナー SW ナイアグラ ET	ミヤチクシ モントレー トム		
ミツキーテール アリー スタークン ET	ミヤチクシ クリス ジョー		
テイユー フェイス ファツトホーイ	ミヤチクシ モーニング スターク	80	
コールト N SW シェラルト ET	ミヤチクシ マツハ ハンビーナ	80	
ジエニベツク ハラツク ET	ミヤチクシ モントレー マウイ エルダ	82	
BRF ハンブル ハーフエクト ワールド ET	ミヤチクシ リリー トム	82	
コールト N SW シェラルト ET	ミヤチクシ ニセコヌフリ サクラ		
コールト N SW シェラルト ET	ミヤチクシ エントレス レディ		
OCD シビツト エミツト PP ET	ヘンカシーン ナイト トム	80	
コールト N SW シェラルト ET	ミヤチクシ フォレスト エター	80	
OCD シビツト エミツト PP ET	ヘンカシーン ナイト トム		
ジエニベツクス タビオンチ ヒラリー アフリ	ミヤチクシ ジエニー リリー ET		
サンワート STEP トロリツチ ET	ミヤチクシ ウエーノ エルサ		
カトム サンターハート	ミヤチクシ モントレー マウイ エルダ		
コールト N SW シェラルト ET	ミヤチクシ ハリツシュ ファツトホーイ		
OCD シビツト エミツト PP ET	ヘンカシーン ナイト トム		
サンワート STEP トロリツチ ET	ミヤチクシ ハインツリー サクラ		
ハツビークロス マツセイ リルレクター ET	ミヤチクシ テコレット エルサ		
ハツビークロス マツセイ リルレクター ET	ミヤチクシ ハラタイス シグナル		
サンワート STEP トロリツチ ET	ミヤチクシ レディースマナー スイタイ		
テインカーヘル タイムアウト ET	ミヤチクシ ナイト トム		
ハイアーランソン エンゾー ET	ミヤチクシ ハインツリー サクラ		
テイユー ナイト エクリプス ET	ミヤチクシ チェリー ノマト		
ハツビークロス マツセイ リルレクター ET	ミヤチクシ オーシャン フリスキー		
サンワート STEP トロリツチ ET	ミヤチクシ ナイト スファイター		
OCD シビツト エミツト PP ET	ミヤチクシ ジエニー ハウエル		
OCD シビツト エミツト PP ET	ミヤチクシ ジエニー ハウエル		
ミツキーテール アリー スタークン ET	ミヤチクシ タイムアウト テイウエーブ		
ハイアーランソン エンゾー ET	ミヤチクシ ナイト スファイター		

## (4) 種雄豚 (デュロック種)

育種番号	品種	名号	証明番号	生年月日	血統
					父豚名号
118	デュロック	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 20 5 0465	DD04-A001361	R2.3.10	ミヤチク 01-330(H13.3.14生) DD04-Y036728
118-2	デュロック	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 20 5 0466	DD04-A001362	R2.3.10	ミヤチク 01-330(H13.3.14生) DD04-Y036728
123-3	デュロック	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 19 5 0406	DD04-A001148	H31.1.29	ミヤチク 01-35(H13.2.12生) DD04-Y036729
217-12	デュロック	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 21 11 0414	DD04-A001734	R4.2.2	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 14 7 0711(H26.3.25生) DD04-A000420
218	デュロック	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 21 4 0113	DD04-A001634	R3.7.12	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 20 5 0465(R2.3.10生) DD04-A001361
218-2	デュロック	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 22 7 0418	DD04-A001736	R4.2.10	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 20 5 0465(R2.3.10生) DD04-A001361
223	デュロック	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 21 2 0154	DD04-A001639	R3.7.23	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 19 5 0406(H31.1.29生) DD04-A001148
304	デュロック	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 19 4 0159	DD04-A001236	R1.7.8	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 16 4 0482(H28.2.16生) DD04-A000664
304-2	デュロック	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 19 9 0246	DD04-A001265	R1.8.26	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 16 4 0482(H28.2.16生) DD04-A000664
311	デュロック	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 21 1 0349	DD04-A001515	R3.2.7	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 19 8 0007(H31.4.4生) DD04-A001192
311-2	デュロック	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 22 4 0152	DD04-A001820	R4.7.16	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 19 8 0007(H31.4.4生) DD04-A001192
316	デュロック	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 20 1 0483	DD04-A001369	R2.3.31	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 16 2 0055(H28.6.23生) DD04-A000735
316-2	デュロック	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 20 8 0475	DD04-A001367	R2.3.31	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 16 2 0055(H28.6.23生) DD04-A000735
317-1	デュロック	シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 16 7 0504	DD04-A000675	H28.2.21	シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 13 6 0163(H25.7.25生) DD04-A000304
404	デュロック	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 22 6 0269	DD04-A001989	R4.10.14	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 19 9 0246(R1.8.26生) DD04-A001265
411	デュロック	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 23 2 0044	DD04-A002031	R5.4.25	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 21 1 0349(R3.2.7生) DD04-A001515
417-2	デュロック	シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 20 7 0413	DD04-A001333	R2.2.20	シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 16 7 0504(H28.2.21生) DD04-A000675
425	デュロック	シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 20 12 0131	DD04-A001418	R2.7.12	シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 16 2 0582(H28.3.11生) DD04-A000700
505	デュロック	シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 18 7 0217	DD04-A001078	H30.7.26	シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 15 3 0193(H27.7.22生) DD04-A000578
505-2	デュロック	シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 21 3 0041	DD04-A001606	R3.5.28	シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 15 3 0193(H27.7.22生) DD04-A000578
515	デュロック	シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 18 2 0249	DD04-A001093	H30.8.21	シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 15 8 0354(H26.9.7生) DD04-A000470
515-2	デュロック	シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 20 6 0171	DD04-A001438	R2.7.24	シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 15 2 0368(H27.10.6生) DD04-A000619
517	デュロック	シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 23 3 0090	DD04-A002040	R5.5.7	シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 20 7 0413(R2.2.20生) DD04-A001333

母豚名号	審査成績					産地	備考
	一般 外貌	体の 構成	資質	乳器・ 生殖器	肢蹄		
ミヤチク シモフリレット <sup>♂</sup> 17 6 0018(H29.4.20生) DD04-A000881	A	B	A	A	B	当 場	
ミヤチク シモフリレット <sup>♂</sup> 17 6 0018(H29.4.20生) DD04-A000881	A	B	B	A	C	当 場	
シモフリレット <sup>♂</sup> ミヤチク 15 2 0321(H27.9.14生) DD04-A000607	A	B	A	A	B	当 場	
シモフリレット <sup>♂</sup> ミヤチク 15 2 0321(H27.9.14生) DD04-A000607	B	A	A	A	B	当 場	
シモフリレット <sup>♂</sup> ミヤチク 18 9 0326(H30.9.16生) DD04-A001111	B	B	A	A	C	当 場	
ミヤチク シモフリレット <sup>♂</sup> 18 7 0399(H30.1.30生) DD04-A000980	A	B	A	A	B	当 場	
シモフリレット <sup>♂</sup> ミヤチク 20 2 0390(R2.2.17生) DD04-A001330	B	A	B	A	B	当 場	
シモフリレット <sup>♂</sup> ミヤチク 17 9 0361(H29.2.4生) DD04-A000818	B	B	A	B	C	当 場	
シモフリレット <sup>♂</sup> ミヤチク 13 4 0566(H25.3.13生) DD04-A000146	特 A	A	A	A	B	当 場	
ミヤチク シモフリレット <sup>♂</sup> 20 11 0441(R2.2.29生) DD04-A001349	B	B	A	B	B	当 場	
ミヤチク シモフリレット <sup>♂</sup> 20 5 0459(R2.3.7生) DD04-A001349	A	B	A	C	A	当 場	
シモフリレット <sup>♂</sup> ミヤチク 19 1 0511(H31.3.14生) DD04-A001178	特 A	A	A	A	B	当 場	
シモフリレット <sup>♂</sup> ミヤチク 15 9 0533(H27.2.27生) DD04-A000530	A	A	特 A	A	A	当 場	
シモフリレット <sup>♂</sup> ミヤチク 12 6 0789(H24.3.24生) DD04-A000017	A	A	A	A	A	当 場	R5.12.20廃用
シモフリレット <sup>♂</sup> ミヤチク 19 5 0085(R1.6.14生) DD04-A001216	A	A	B	A	A	当 場	
シモフリレット <sup>♂</sup> ミヤチク 21 2 0255(R3.9.19生) DD04-A001680	B	B	B	A	A	当 場	
ミヤチク シモフリレット <sup>♂</sup> 16 1 0614(H28.3.19生) DD04-A000704	A	A	特 A	A	B	当 場	
シモフリレット <sup>♂</sup> ミヤチク 14 8 0608(H26.3.7生) DD04-A000408	A	B	A	A	B	当 場	
シモフリレット <sup>♂</sup> ミヤチク 14 8 0169(H26.7.26生) DD04-A000450	A	A	特 A	A	B	当 場	
シモフリレット <sup>♂</sup> ミヤチク 19 3 0526(H31.3.25生) DD04-A001184	A	A	C	A	B	当 場	R6.1.17廃用
ミヤチク シモフリレット <sup>♂</sup> 17 9 0354(H29.2.2生) DD04-A000816	A	B	B	A	B	当 場	R5.9.20廃用
ミヤチク シモフリレット <sup>♂</sup> 16 1 0281(H28.10.22生) DD04-A000788	B	B	A	A	B	当 場	
ミヤチク シモフリレット <sup>♂</sup> 21 11b0068(R3.6.14) DD04-A001611	B	B	A	B	A	当 場	

## (4) 種雄豚 (ランドレース種)

育種番号	品 種	名 号	証明番号	生年月日	血
					父豚名号
202	ランドレース	ミヤギノ L 2 17 7 0120	LL04-A000974	H29. 6. 30	ミヤギノ L2 12-7-407 ( H24. 1. 9 生) LL04- Y500248
201	ランドレース	ミヤギノ L 2 20 13 0121	LL04-A001246	R2. 6. 30	ミヤギノ L2 12 8 0127 ( H24. 7. 13 生) LL04- A000053
306	ランドレース	ミヤギノ L 2 21 9 0321	LL04-A001285	R3. 1. 26	ミヤギノ L2 17 8 0014 ( H29. 6. 14 生) LL04- A000893
310	ランドレース	ミヤギノ L 2 21 4 0332	LL04-A001289	R3. 2. 2	ミヤギノ L2 17 10 0075 ( H29. 6. 22 生) LL04- A000962
205-2	ランドレース	ミヤギノ L 2 22 2 0300	LL04-A001367	R4. 1. 31	ミヤギノ L2 14 5 0336 ( H26. 8. 1 生) LL04- A000589
305	ランドレース	ミヤギノ L 2 22 5 0041	LL04-A001379	R4. 6. 14	ミヤギノ L2 18 11 0218 ( H30. 1. 22 生) LL04- A000996
404	ランドレース	ミヤギノ L 2 22 3 0232	LL04-A001403	R4. 7. 24	ミヤギノ L2 20 3 0194 ( R2. 1. 15 生) LL04- A001196
302	ランドレース	ミヤギノ L 2 23 4 0426	LL04-A001507	R5. 1. 30	ミヤギノ L2 17 7 0120 ( H29. 6. 30 生) LL04- A000974
303	ランドレース	ミヤギノ L 2 23 6 0085	LL04-A001516	R5. 6. 20	ミヤギノ L2 19 1 0234 ( H31. 1. 19 生) LL04- A001131

統	審査成績					産地	備考		
	母豚名号	一般 外貌	体の 構成	資質	乳器・ 生殖器			肢蹄	
ミヤギノ L2 ( H25. 7. 7 生) LL04- A000368	13 10 0260	特	A	A	A	A	B	当 場	
ミヤギノ L2 ( H24. 1. 16 生) LL04- Z501759	12-6-454	特	A	B	A	A	A	当 場	
ミヤギノ L2 ( H27. 3. 7 生) LL04- A000701	15 7 0842	特	A	A	A	A	A	当 場	
ミヤギノ L2 ( H30. 1. 19 生) LL04- A000992	18 9 0183	特	A	A	A	A	B	当 場	
ミヤギノ L2 ( R2. 1. 15 生) LL04- A001188	20 5 0178	特	A	A	A	A	B	当 場	
ミヤギノ L2 ( R1. 7. 18 生) LL04- A001175	19 7 0155	特	A	A	A	A	B	当 場	
ミヤギノ L2 ( R2. 1. 15 生) LL04- A001188	20 5 0178	特	A	A	A	A	B	当 場	
ミヤギノ L2 ( R2. 7. 3 生) LL04- A001247	20 13 0124	特	B	B	A	A	B	当 場	
ミヤギノ L2 ( R1. 7. 15 生) LL04- A001172	19 4 0138	特	B	B	A	A	B	当 場	

## (5) 種雌豚(デュロック種)

育種番号	品種	名号	証明番号	生年月日	血統
					父豚名号
311-2	デュロック	シモフリット*ミヤチク 17 9 0361	DD04-A000818	H29.2.4	シモフリット*ミヤチク 13 3 0363(H25.9.13生) DD04-A000339
329-2	デュロック	シモフリット*ミヤチク 19 10 0191	DD04-A001243	R1.7.31	シモフリット*ミヤチク 13 3 0363(H25.9.13生) DD04-A000339
329-3	デュロック	シモフリット*ミヤチク 20 12 0126	DD04-A001416	R2.7.12	シモフリット*ミヤチク 16 2 0582(H28.3.11生) DD04-A000700
403	デュロック	ミヤチク シモフリット* 19 14 0131	DD04-A001229	R1.7.4	ミヤチク シモフリット* 14 7 0711(H26.3.25生) DD04-A000420
411	デュロック	ミヤチク シモフリット* 20 5 0459	DD04-A001354	R2.3.7	ミヤチク 01-330(H13.3.14生) DD04-Y036728
416	デュロック	シモフリット*ミヤチク 16 4 0075	DD04-A000745	H28.7.6	シモフリット*ミヤチク 13 6 0163(H25.7.25生) DD04-A000304
429	デュロック	ミヤチク シモフリット* 22 5 0060	DD04-A001790	R4.5.14	ミヤチク シモフリット* 19 3 0508(H31.3.9生) DD04-A001173
431-2	デュロック	シモフリット*ミヤチク 15 2 0321	DD04-A000607	H27.9.14	シモフリット*ミヤチク 12 2 0336(H24.9.2生) DD04-A000095
431-3	デュロック	シモフリット*ミヤチク 18 9 0326	DD04-A001111	H30.9.16	シモフリット*ミヤチク 13 3 0363(H25.9.13生) DD04-A000339
449	デュロック	シモフリット*ミヤチク 19 3 0526	DD04-A001184	H31.3.25	シモフリット*ミヤチク 15 2 0368(H27.10.6生) DD04-A000619
458-2	デュロック	シモフリット*ミヤチク 21 7 0341	DD04-A001510	R3.2.3	シモフリット*ミヤチク 15 3 0193(H27.7.22生) DD04-A000578
503-3	デュロック	ミヤチク シモフリット* 22 4 0394	DD04-A001717	R4.1.23	ミヤチク シモフリット* 20 5 0465(R2.3.10生) DD04-A001361
511-2	デュロック	シモフリット*ミヤチク 21 2 0255	DD04-A001680	R3.9.19	シモフリット*ミヤチク 20 6 0171(R2.7.24生) DD04-A001438
511-3	デュロック	ミヤチク シモフリット* 22 4 0148	DD04-A001819	R4.7.16	ミヤチク シモフリット* 19 8 0007(H31.4.4生) DD04-A001192
516	デュロック	シモフリット*ミヤチク 19 5 0085	DD04-A001216	R1.6.14	シモフリット*ミヤチク 10-10-288(H22.9.13生) DD04-Y042992
516-2	デュロック	シモフリット*ミヤチク 20 6 0334	DD04-A001301	R2.1.18	シモフリット*ミヤチク 10-10-288(H22.9.13生) DD04-Y042992
516-3	デュロック	ミヤチク シモフリット* 21 10 0309	DD04-A001695	R3.11.16	ミヤチク シモフリット* 19 5 0406(H31.1.29生) DD04-A001148
531-2	デュロック	ミヤチク シモフリット* 20 8 0209	DD04-A001452	R2.8.23	ミヤチク シモフリット* 19 8 0007(H31.4.4生) DD04-A001192
531-3	デュロック	ミヤチク シモフリット* 21 3 0410	DD04-A001538	R3.3.11	ミヤチク シモフリット* 19 5 0406(H31.1.29生) DD04-A001148
534	デュロック	シモフリット*ミヤチク 19 1 0511	DD04-A001178	H31.3.14	シモフリット*ミヤチク 13 3 0363(H25.9.13生) DD04-A000339
534-2	デュロック	シモフリット*ミヤチク 20 4 0269	DD04-A001477	R2.10.22	シモフリット*ミヤチク 18 7 0217(H30.7.26生) DD04-A001078
537-3	デュロック	ミヤチク シモフリット* 21 11 0068	DD04-A001611	R3.6.14	ミヤチク シモフリット* 19 3 0508(H31.3.9生) DD04-A001173
549-2	デュロック	ミヤチク シモフリット* 22 5 0032	DD04-A001778	R4.4.19	ミヤチク シモフリット* 17 7 0047(H29.6.4生) DD04-A000888
549-3	デュロック	ミヤチク シモフリット* 22 6 0237	DD04-A001967	R4.9.14	ミヤチク シモフリット* 19 5 0406(H31.1.29生) DD04-A001148
554	デュロック	シモフリット*ミヤチク 18 1 0068	DD04-A001045	H30.4.20	シモフリット*ミヤチク 13 1 0393(H25.10.2生) DD04-A000350
554-2	デュロック	ミヤチク シモフリット* 20 5 0464	DD04-A001360	R2.3.10	ミヤチク 01-330(H13.3.14生) DD04-Y036728

母豚名号	審査成績					産地	備考
	一般 外貌	体の 構成	資質	乳器・ 生殖器	肢蹄		
シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 12 9 0257(H24.8.10生) DD04-A000078	特 A	特 A	A	B	A	当 場	
シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 14 8 0608(H26.3.7生) DD04-A000408	A	特 A	A	A	B	当 場	R5.5.10廃用
シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 14 8 0608(H26.3.7生) DD04-A000408	A	A	A	B	B	当 場	
シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 11-1-999(H23.7.10生) DD04-Z083967	A	B	B	B	C	当 場	
シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 17 9 0361(H29.2.4生) DD04-A000818	A	B	A	B	C	当 場	
シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 13 8 0010(H25.4.5生) DD04-A000165	A	A	A	A	B	当 場	R5.6.14廃用
シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 19 10 0191(R1.7.31生) DD04-A001243	A	B	A	B	B	当 場	
ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 14 7 0512(H26.2.15生) DD04-A000382	A	A	C	B	B	当 場	R5.6.7廃用
ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 14 7 0512(H26.2.15生) DD04-A000382	A	A	B	B	B	当 場	
ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 17 9 0354(H29.2.2生) DD04-A000816	A	B	A	B	B	当 場	
シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 17 10 0338(H29.1.28生) DD04-A000807	A	A	A	B	C	当 場	
ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 19 14 0131 (R1.7.4生) DD04-A001229	B	A	B	C	B	当 場	R5.11.1廃用
ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 20 5 0459(R2.3.7生) DD04-A001354	B	B	A	B	A	当 場	
ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 20 5 0459(R2.3.7生) DD04-A001354	A	B	B	B	A	当 場	
シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 16 4 0075(H28.7.6生) DD04-A000745	A	特 A	A	A	A	当 場	
シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 16 4 0075(H28.7.6生) DD04-A000745	A	B	A	B	B	当 場	
シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 16 4 0075(H28.7.6生) DD04-A000745	A	A	A	A	B	当 場	R5.8.8淘汰
シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 15 2 0321(H27.9.14生) DD04-A000607	B	A	A	A	A	当 場	
ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 19 8 0005(H31.4.4生) DD04-A001191	A	A	B	A	B	当 場	
ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 18 7 0399(H30.1.30生) DD04-A000980	B	B	A	A	B	当 場	
ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 18 7 0399(H30.1.30生) DD04-A000980	B	A	B	A	C	当 場	
シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 15 3 0273(H27.8.18生) DD04-A000596	B	B	B	C	C	当 場	
シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 19 3 0526(H31.3.25生) DD04-A001184	A	A	A	B	A	当 場	
シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 19 3 0526(H31.3.25生) DD04-A001184	B	B	A	C	A	当 場	
ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 17 6 0018(H29.4.20生) DD04-A000881	B	A	B	B	B	当 場	
ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 17 6 0018(H29.4.20生) DD04-A000881	A	A	A	A	B	当 場	

育種番号	品種	名号	証明番号	生年月日	血統
					父豚名号
555-2	デュロック	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 20 11 0441	DD04-A001349	R2.2.29	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 17 7 0047(H29.6.4生) DD04-A000888
555-3	デュロック	シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 20 12 0183	DD04-A001440	R2.7.28	シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 15 3 0193(H27.7.22生) DD04-A000578
558-2	デュロック	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 21 5 0269	DD04-A001682	R3.9.29	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 14 7 0711(H26.3.25生) DD04-A000420
558-3	デュロック	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 22 1 0405	DD04-A001726	R4.1.30	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 20 5 0465(R2.3.10生) DD04-A001361
603	デュロック	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 22 2 0379	DD04-A001721	R4.1.23	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 20 5 0465(R2.3.10生) DD04-A001361
603-2	デュロック	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 22 3 0110	DD04-A001808	R4.7.2	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 19 5 0406(H31.1.29生) DD04-A001148
607	デュロック	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 21 9 0031	DD04-A001596	R3.5.28	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 19 9 0246(R1.8.26生) DD04-A001265
616	デュロック	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 23 1 0374	DD04-A001944	R5.1.29	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 21 1 0349(R3.7.23生) DD04-A001515
631	デュロック	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 19 3 0503	DD04-A001170	H31.3.9	ミヤチク 01-365(H13.3.21生) DD04-Y036724
631-3	デュロック	シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 23 3 0004	DD04-A002019	R5.4.13	シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 16 7 0504(H28.2.21生) DD04-A000675
634-2	デュロック	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 22 5 0399	DD04-A001728	R4.1.30	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 20 5 0466(R2.3.10生) DD04-A001362
634-3	デュロック	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 22 3 0174	DD04-A001900	R4.8.10	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 21 2 0154(R3.7.23生) DD04-A001639
637-2	デュロック	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 21 2 0443	DD04-A001550	R3.3.15	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 16 2 0055(H28.6.23生) DD04-A000735
646	デュロック	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 21 1 0366	DD04-A001521	R3.2.11	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 17 7 0047(H29.6.4生) DD04-A000888
654	デュロック	シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 20 2 0390	DD04-A001330	R2.2.17	シモフリット <sup>*</sup> ミヤチク 16 7 0504(H28.2.21生) DD04-A000675
654-2	デュロック	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 21 2 0202	DD04-A001661	R3.8.2	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 19 9 0246(R1.8.26生) DD04-A001265
654-3	デュロック	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 21 5 0289	DD04-A001690	R3.11.9	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 19 9 0246(R1.8.26生) DD04-A001265
655	デュロック	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 22 4 0082	DD04-A001796	R4.6.3	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 14 7 0711(H26.3.25生) DD04-A000420
737	デュロック	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 22 2 0245	DD04-A001973	R4.9.16	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 20 5 0466(R2.3.10生) DD04-A001362
746	デュロック	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 23 3 0516	DD04-A002013	R5.3.27	ミヤチク シモフリット <sup>*</sup> 21 2 0154(R3.7.23生) DD04-A001639



母豚名号	審査成績					産地	備考
	一般 外貌	体の 構成	資質	乳器・ 生殖器	肢蹄		
シモフリット*ミヤチク 13 6 0368(H25.9.23生) DD04-A000341	B	B	A	A	B	当 場	
シモフリット*ミヤチク 13 6 0368(H25.9.23生) DD04-A000341	B	B	A	A	B	当 場	
ミヤチク シモフリット* 18 2 0253(H30.8.20生) DD04-A001103	A	B	C	A	B	当 場	
シモフリット*ミヤチク 21 7 0341(R3.2.3生) DD04-A001510	B	A	A	A	B	当 場	
シモフリット*ミヤチク 20 1 0153(R2.7.20生) DD04-A001428	B	B	A	B	A	当 場	
シモフリット*ミヤチク 20 1 0153(R2.7.20生) DD04-A001428	B	B	A	C	A	当 場	R5.6.28廃用
ミヤチク シモフリット* 16 1 0614(H28.3.19生) DD04-A000704	B	B	B	A	C	当 場	
シモフリット*ミヤチク 21 10 0309(R3.11.16生) DD04-A001695	B	B	A	A	C	当 場	
ミヤチク シモフリット* 16 1 0281(H28.10.22生) DD04-A000788	A	A	A	B	C	当 場	
ミヤチク シモフリット* 20 8 0209(R2.8.23生) DD04-A001452	B	B	B	B	A	当 場	
シモフリット*ミヤチク 19 1 0511(H31.3.14生) DD04-A001178	A	B	A	B	A	当 場	R5.8.23廃用
シモフリット*ミヤチク 20 4 0269(R2.10.22生) DD04-A001477	B	B	A	C	B	当 場	
シモフリット*ミヤチク 19 8 0251(R1.9.6生) DD04-A001270	A	A	A	A	B	当 場	
シモフリット*ミヤチク 19 2 0310(R1.11.18生) DD04-A001288	特 A	A	B	C	C	当 場	R5.4.27廃用
シモフリット*ミヤチク 18 1 0068(H30.4.20生) DD04-A001045	A	A	B	A	B	当 場	
ミヤチク シモフリット* 20 5 0464(R2.3.10生) DD04-A001360	B	A	A	B	B	当 場	R5.8.30廃用
シモフリット*ミヤチク 18 1 0068(H30.4.20生) DD04-A001045	A	B	A	B	B	当 場	
ミヤチク シモフリット* 20 11 0441(R2.2.29生) DD04-A001349	B	A	B	C	B	当 場	
ミヤチク シモフリット* 21 2 0443(R3.3.15生) DD04-A001550	A	B	C	A	A	当 場	
ミヤチク シモフリット* 21 1 0366(R3.2.21生) DD04-A001521	B	B	C	B	A	当 場	

## (5) 種雌豚(ランドレース種)

育種番号	品 種	名 号	証明番号	生年月日	血	
					父豚名号	
323	ランドレース	ミヤギノ L2 19 1 0232	LL04-A001130	H31. 1. 19	ミヤギノ L2 14 3 0427 ( H26. 1. 19 生) LL04-	A000420
342	ランドレース	ミヤギノ L2 19 8 0026	LL04-A001156	R1. 6. 28	ミヤギノ L2 15 6 0574 ( H27. 2. 1 生) LL04-	A000655
447	ランドレース	ミヤギノ L2 19 3 0130	LL04-A001169	R1. 7. 9	ミヤギノ L2 12 8 0127 ( H24. 7. 13 生) LL04-	A000053
317	ランドレース	ミヤギノ L2 19 4 0138	LL04-A001172	R1. 7. 15	ミヤギノ L2 12-7-466 ( H24. 1. 17 生) LL04-	Y500251
326	ランドレース	ミヤギノ L2 19 7 0155	LL04-A001175	R1. 7. 18	ミヤギノ L2 15 6 0623 ( H27. 2. 4 生) LL04-	A000672
443	ランドレース	ミヤギノ L2 20 5 0178	LL04-A001188	R2. 1. 15	ミヤギノ L2 17 7 0120 ( H29. 6. 30 生) LL04-	A000974
329-3	ランドレース	ミヤギノ L2 20 3 0187	LL04-A001190	R2. 1. 15	ミヤギノ L2 15 6 0623 ( H27. 2. 4 生) LL04-	A000672
217-3	ランドレース	ミヤギノ L2 20 14 0300	LL04-A001221	R2. 2. 29	ミヤギノ L2 13 8 0785 ( H25. 2. 20 生) LL04-	A000191
342-2	ランドレース	ミヤギノ L2 20 9 0088	LL04-A001238	R2. 6. 24	ミヤギノ L2 18 11 0218 ( H30. 1. 22 生) LL04-	A000996
246-3	ランドレース	ミヤギノ L2 20 13 0124	LL04-A001247	R2. 7. 3	ミヤギノ L2 13 8 0785 ( H25. 2. 20 生) LL04-	A000191
207	ランドレース	ミヤギノ L2 20 13 0150	LL04-A001255	R2. 7. 8	ミヤギノ L2 19 5 0239 ( H31. 1. 20 生) LL04-	A001133
207-2	ランドレース	ミヤギノ L2 20 13 0151	LL04-A001256	R2. 7. 8	ミヤギノ L2 19 5 0239 ( H31. 1. 20 生) LL04-	A001133
326-2	ランドレース	ミヤギノ L2 21 10 0032	LL04-A001326	R3. 6. 15	ミヤギノ L2 14 5 0336 ( H26. 8. 1 生) LL04-	A000589
534	ランドレース	ミヤギノ L2 21 4 0059	LL04-A001338	R3. 6. 22	ミヤギノ L2 17 7 0120 ( H29. 6. 30 生) LL04-	A000974
326-3	ランドレース	ミヤギノ L2 22 11 0216	LL04-A001355	R4. 1. 19	ミヤギノ L2 20 13 0121 ( R2. 6. 30 生) LL04-	A001246
317-2	ランドレース	ミヤギノ L2 22 9 0220	LL04-A001356	R4. 1. 20	ミヤギノ L2 17 8 0014 ( H29. 6. 14 生) LL04-	A000893
447-2	ランドレース	ミヤギノ L2 22 7 0269	LL04-A001362	R4. 1. 28	ミヤギノ L2 21 4 0332 ( R3. 2. 2 生) LL04-	A001289
329-4	ランドレース	ミヤギノ L2 22 8 0030	LL04-A001383	R4. 6. 14	ミヤギノ L2 21 4 0332 ( R3. 2. 2 生) LL04-	A001289
634	ランドレース	ミヤギノ L2 22 1 0089	LL04-A001391	R4. 6. 19	ミヤギノ L2 18 11 0218 ( H30. 1. 22 生) LL04-	A000996
423	ランドレース	ミヤギノ L2 23 5 0239	LL04-A001407	R5. 1. 18	ミヤギノ L2 20 3 0194 ( R2. 1. 15 生) LL04-	A001196
543	ランドレース	ミヤギノ L2 23 4 0292	LL04-A001412	R5. 1. 22	ミヤギノ L2 20 3 0194 ( R2. 1. 15 生) LL04-	A001196
442	ランドレース	ミヤギノ L2 23 7 0088	LL04-A001517	R5. 6. 21	ミヤギノ L2 19 5 0239 ( H31. 1. 20 生) LL04-	A001133
346	ランドレース	ミヤギノ L2 23 5 0130	LL04-A001524	R5. 6. 23	ミヤギノ L2 22 2 0300 ( R4. 1. 31 生) LL04-	A001367

統	母豚名号	審査成績					産 地	備 考
		一般 外貌	体 の 構 成	資 質	乳 器 ・ 生 殖 器	肢 蹄		
	ミヤギノ L2 18 9 0183 ( H30.1.19 生) LL04- A000992	A	A	A	A	B	当 場	R6.2.14斃死
	ミヤギノ L2 15 5 0821 ( H27.3.5 生) LL04- A000700	A	B	A	A	B	当 場	R6.2.21廃用
	ミヤギノ L2 17 8 0126 ( H29.7.2 生) LL04- A000978	A	A	A	A	B	当 場	
	ミヤギノ L2 17 9 0231 ( H29.1.23 生) LL04- A000866	A	A	A	A	B	当 場	
	ミヤギノ L2 15 7 0842 ( H27.3.7 生) LL04- A000701	A	A	A	A	A	当 場	
	ミヤギノ L2 17 9 0286 ( H29.2.1 生) LL04- A000876	A	A	A	A	B	当 場	
	ミヤギノ L2 18 11 0215 ( H30.1.22 生) LL04- A000994	A	A	A	A	A	当 場	
	ミヤギノ L2 12-7-646 ( H24.2.3 生) LL04- Z501799	B	A	A	A	B	当 場	
	ミヤギノ L2 15 5 0821 ( H27.3.5 生) LL04- A000700	特 A	A	A	A	B	当 場	
	ミヤギノ L2 13 10 0209 ( H25.7.6 生) LL04- A000356	特 A	A	A	A	B	当 場	
	ミヤギノ L2 13 10 0260 ( H25.7.7 生) LL04- A000368	特 A	A	A	A	B	当 場	R6.3.6廃用
	ミヤギノ L2 13 10 0260 ( H25.7.7 生) LL04- A000368	特 A	A	A	A	B	当 場	
	ミヤギノ L2 15 7 0842 ( H27.3.7 生) LL04- A000701	B	A	A	B	A	当 場	
	ミヤギノ L2 19 1 0288 ( H31.1.29 生) LL04- A001144	A	B	B	A	B	当 場	
	ミヤギノ L2 15 7 0842 ( H27.3.7 生) LL04- A000701	B	A	A	A	B	当 場	
	ミヤギノ L2 17 9 0231 ( H29.1.23 生) LL04- A000866	A	A	A	A	B	当 場	
	ミヤギノ L2 17 8 0126 ( H29.7.2 生) LL04- A000978	B	B	A	A	A	当 場	
	ミヤギノ L2 18 11 0215 ( H30.1.22 生) LL04- A000994	特 A	A	特 A	A	A	当 場	
	ミヤギノ L2 21 4 0059 ( R3.6.22 生) LL04- A001338	A	A	A	特 A	A	当 場	
	ミヤギノ L2 19 2 0124 ( R1.7.8 生) LL04- A001167	B	B	A	A	B	当 場	
	ミヤギノ L2 20 5 0178 ( R2.1.15 生) LL04- A001188	A	B	A	B	A	当 場	
	ミヤギノ L2 19 8 0026 ( R1.6.28 生) LL04- A001156	A	B	A	A	A	当 場	
	ミヤギノ L2 20 13 0125 ( R2.7.3 生) LL04- A001248	A	A	A	A	B	当 場	

### 3 生産物の状況

#### (1) 生乳の生産 (単位 : kg)

区 分	生産量
生 乳	325,387

#### (2) 人工授精用精液の生産配布

##### 1) 牛

(単位 : 本)

区 分	前年繰越	生産量	払 出				翌年繰越
			譲 渡	場 用	その他	計	
黒毛和種	179,635	74,684	19,696	223	10,669	30,588	223,731

##### 2) 豚

(単位 : 本)

区 分	前年繰越	生産量	払 出				翌年繰越
			譲 渡	場 用	その他	計	
デュロック	0	7,122	6,340	196	586	7,122	0

#### (3) 受精卵の生産配布

##### 1) 牛

(単位 : 個)

区 分		譲 渡	備 考
黒毛和種	新鮮卵	3	
	凍結卵	74	
計		77	

#### 4 牧草・飼料作物の生産

##### (1) 生産状況

利用区分	面積	草種	施肥量	収穫回数及び収穫時期	生草収量	調製形態
採草地	53.0ha 利用 47.5ha	オーチャードグラス イタリアンライグラス	年間 N- P- K 4.6-1.3-1.3 kg/10a 堆肥 2t/10a	3回 1番草 令和5年 5月18日 ～6月5日 2番草 7月4日 ～7月31日 3番草 9月12日 ～10月3日	2.0～4.0 t/10a	1番草 ラップサイレージ 2番草 ラップサイレージ 3番草 ラップサイレージ
放牧地	2.9ha	オーチャードグラス ペレニアルライグラス	休牧			
飼料畑	6.6ha 利用 4.0ha	飼料用トウモロコシ P2088(RM118) 播種日 4月20日 栽植密度 7,400本/10a	基肥 (側条施肥) N-P-K 10-5-5 kg/10a タンカル 50kg/10a ようりん 25kg/10a 堆肥 2t/10a	1回 令和5年 8月17日 ～8月22日	6.4t/10a	バンカーサイロ 及び 地下サイロ
計	62.5ha					

※放牧地2.9haは放射性物質の除染を行っていないため利用自粛。

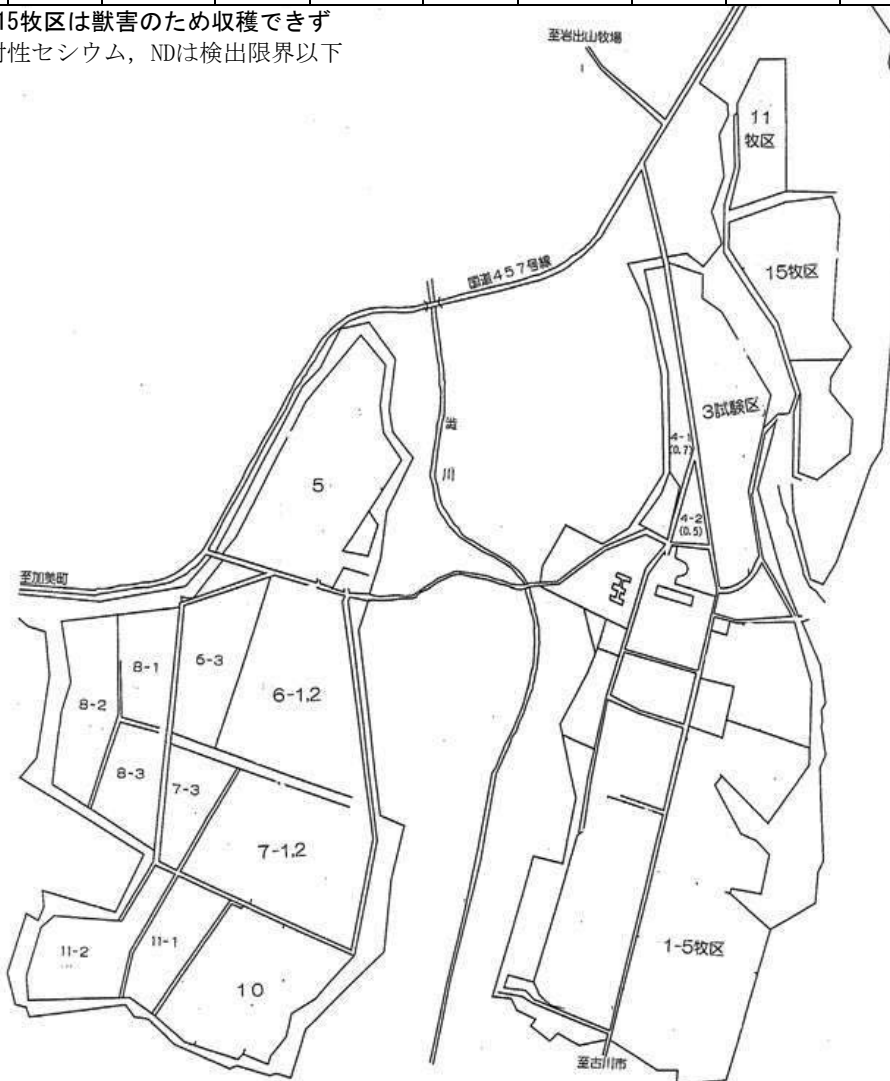
##### (2) 害虫及び雑草防除

利用区分	内容	処理日	使用薬剤
飼料用トウモロコシ	雑草防除 4.0ha	令和5年4月21日(土壌処理) 令和5年5月25日(茎葉処理)	ゲザノゴールト アルファート
採草地	害虫防除 23.9ha 雑草防除 12.5ha 雑草防除 42.1ha	令和5年3月15, 16, 20日 令和5年3月20日 令和5年10月12, 13, 17日	スミチオン乳剤 ハーモニー DF 水和剤 バンバールド液剤

令和5年産牧草サイレージ生産実績及び放射性物質検査結果

圃場名	面積 (ha)	番草別収穫ロール個数(収穫日)						合計	概要 優先草種
		1番草		2番草		3番草			
		5/18 ~5/30	RCs Bq/kg	7/26 ~8/1	RCs Bq/kg	9/13 ~9/29	RCs Bq/kg		
3号-1.2	3.2	41	ND	23	1.4	3	0.7	67	オーチャードグラス
4号-1.2	1.2	10	ND	5	-	1	0.8	16	オーチャードグラス
6号-1.2	6.8	76	0.5	55	0.5	11	1.4	155	オーチャードグラス
6号-3	2.8		0.4		0.7		1.4		オーチャードグラス
7号-1.2	5.9	40	0.6	22	0.6	7	1.0	73	オーチャードグラス
7号-3	2.1	15	ND	12	0.7	4	0.7	33	イタリアンライグラス
8号-1.3	3.8	52	ND	17	ND	4	0.6	83	オーチャードグラス
8号-2	2.8		ND		1.1		0.6		オーチャードグラス
10号	5.6	37	ND	19	0.8	1	1.2	67	イタリアンライグラス
11号-1	2.2	22	ND	10	0.8	8	1.3	37	イタリアンライグラス
11号-2	2.6	24	0.6	12	ND		1.1	43	イタリアンライグラス
1-5牧区	8.5	59	0.6	34	0.9	13	1.3	108	イタリアンライグラス
11号牧区	2.6	-	-	-	-	-	-	-	イタリアンライグラス
15号牧区	2.9	-	-	-	-	-	-	-	イタリアンライグラス
計	53.0	376		209		97		682	

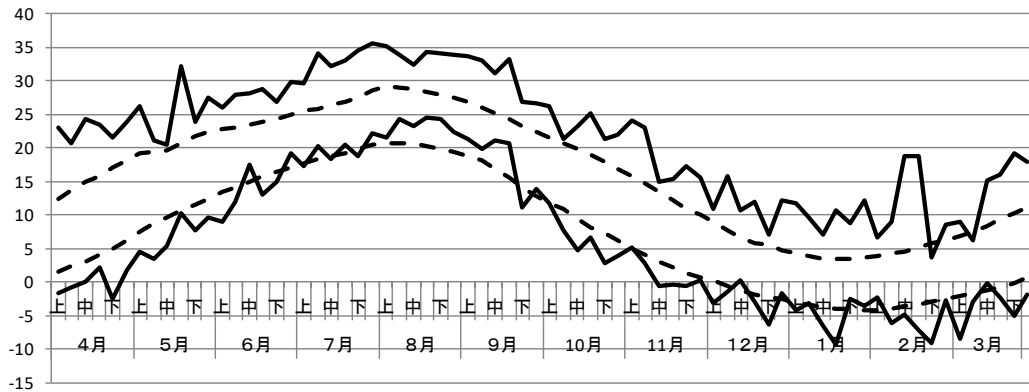
※11号牧区15号牧区は獣害のため収穫できず  
RCsは放射性セシウム, NDは検出限界以下



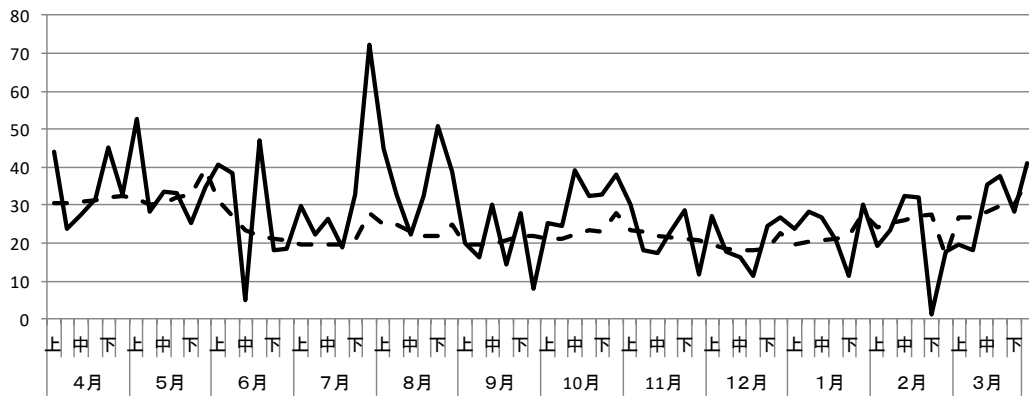
## 5 気象経過

令和5年度の気象経過(古川アメダス)

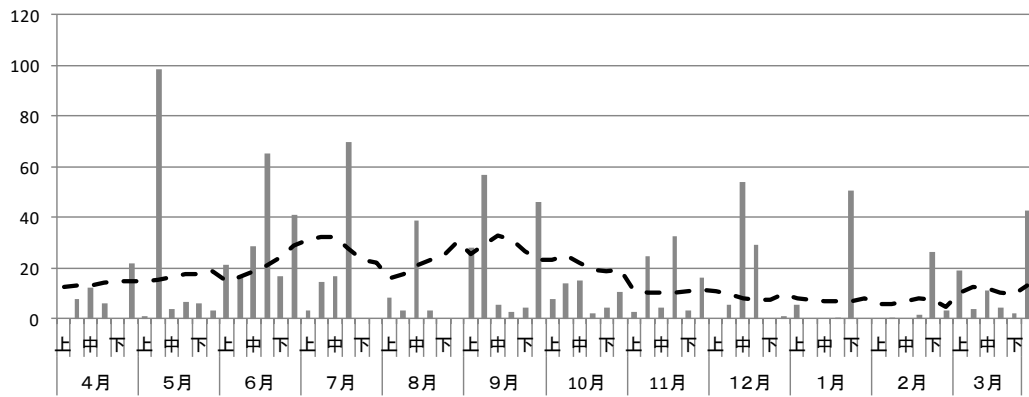
気温(°C)



日照時間(hr)



降水量(mm)



※破線は平年値





# V 総務



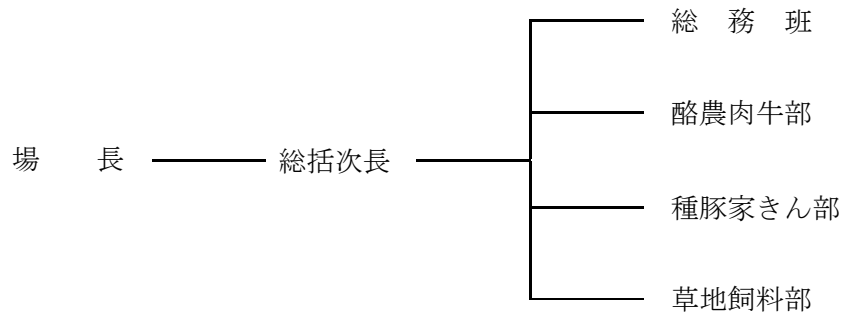
## 1. 沿革

- 大正 10 年 8 月 刈田郡白石町大字郡山（現白石市）に創設。種牛（ホルスタイン種・改良和種）に関する業務のみ施行。
- 昭和 3 年 4 月 緬羊、山羊、豚、鶏および兎に関する業務を追加施行。
- 昭和 19 年 4 月 有畜農業指導員養成施設を併置。
- 昭和 22 年 4 月 上記養成施設が畜産技術員養成施設と改められる。
- 昭和 24 年 5 月 玉造郡西大崎村（現岩出山町）所在の農林省宮城種畜牧場の廃場に併いその施設と家畜を譲受。
- 昭和 24 年 6 月 白石町より西大崎村に移転更に加美種畜場を閉鎖、その家畜を当場に移し新たに馬に関する業務を加えて総合種畜場として発足。
- 昭和 29 年 10 月 家畜人工授精（牛）メインセンターを併設、県内北部（5 家畜保健衛生所管内）に精液配布業務を開始。
- 昭和 32 年 4 月 鶏の抜取見本産卵能力検定（R S T）実施。
- 昭和 33 年 4 月 種雄牛を集中管理。人工授精精液を県内一円配布。
- 昭和 35 年 11 月 組織改正により、家畜、家きん、飼料作物に関する試験研究業務を追加。
- 昭和 36 年 10 月 畜産技術員養成施設が畜産技術講習施設に改正。
- 昭和 40 年 4 月 豚の産肉能力検定事業を開始。
- 昭和 43 年 4 月 液体窒素による牛凍結精液を県内一円に配布開始。
- 昭和 43 年 10 月 玉造郡鳴子分場（旧開拓営農普及農場）併置（昭和 46 年 3 月に閉鎖）。
- 昭和 45 年 4 月 庶務、種畜、草地飼料の 3 課制となる。
- 昭和 48 年 4 月 宮城県畜産試験場に改め、総務課、家畜第一部（乳牛科、肉牛科、畜産化学科）、家畜第二部（養豚科、養鶏科、畜産公害科）及び草地飼料部（草地科、飼料科）の 1 課 3 部制となる。
- 昭和 49 年 6 月 種雄牛「茂重波」を兵庫県より購入、同年精液配布（昭和 63 年 1 月廃用）。
- 昭和 52 年 4 月 現在の本館を建設。宮城県農業実践大学校（現宮城県農業大学校）が併設される。
- 昭和 53 年 4 月 総務課、研究第一部（経営研究科、乳牛科、肉牛科）、研究第二部（養豚科、養鶏科、畜産化学科）、研究第三部（草地飼料科、畜産公害科）となる。
- 昭和 58 年 4 月 研究第二部に原種豚造成科を新設し、種豚舎と検定豚舎完成。同時に畜産化学科を研究第三部に編入。
- 昭和 59 年 6 月 前年受精卵移植技術に着手し、本県最初の受精卵移植による子牛が誕生。
- 昭和 61 年 4 月 場内組織を総務課、酪農肉牛部、種豚家きん部、草地飼料部に改称し、酪農肉牛部に受精卵研究科を新設。
- 平成 2 年 3 月 前年ランドレース種系統造成完了、「ミヤギノ」の系統認定を受ける。
- 平成 2 年 4 月 原種豚造成科を原種豚科に改称。
- 平成 4 年 6 月 高泌乳牛の飼養管理を目的とした乳牛舎完成。

- 平成 5 年 4 月 「茂勝」を基幹種雄牛に選定した（平成 16 年 12 月廃用）。
- 平成 9 年 4 月 受精卵研究科をバイオテクノロジー研究科に改称。翌年 1 月バイオテク棟完成。
- 平成 11 年 4 月 組織改正により、総務班、酪農肉牛部（乳牛チーム、肉牛チーム、バイオテクノロジー研究チーム）、種豚家きん部（原種豚チーム、養豚家きんチーム）、草地飼料部（草地飼料チーム、環境資源チーム）となる。
- 平成 14 年 3 月 前年デュロック種系統造成完了、「しもふりレッド」の系統認定を受ける。  
翌年 2 月原種豚舎完成。
- 平成 14 年 8 月 家畜排せつ物法に対応した、たい肥化棟（強制発酵処理施設）を建設。
- 平成 19 年 3 月 「茂洋」を基幹種雄牛に選定した（令和元年 9 月廃用）。
- 平成 21 年 3 月 前年ランドレース種系統造成完了、「ミヤギノ L 2」の系統認定を受ける。
- 平成 30 年 11 月 新しい種雄牛舎と精液採取棟完成。

## 2. 機 構

### (1) 機 構 図



### (2) 職 員 名 簿

(令和6年3月31日現在)

所 属		氏 名
	場 長	菊地 武
	副参事兼総括次長 (兼班長)	西塚 健哉
総 務 班	兼 班 長	西塚 健哉
	主 幹	齋藤 麻里
	主 幹	伊藤 淳一
	主 査	後藤 裕太郎
酪農肉牛部	主 事	柿崎 壮則
	部 長	菊地 武
乳牛チーム	総 括 研 究 員	石黒 裕敏
	研 究 員	福田 純子
肉牛チーム	技 師	浅野 貴史
	主 任 研 究 員	千葉 正典
	技 師	小宮 亮太
	技 師	佐々木 孔亮
バイオテクノロジー 研究チーム (酪農肉牛部兼 草地飼料部)	上席主任研究員	及川 俊徳
	研 究 員	佐藤 秀俊
	技師 (農場業務主任)	加藤 秀樹
	技師 (農場業務主任)	尾形 優
	技師 (農場業務主任)	千葉 美保
	技師 (農場業務主任)	岩浅 忍
	技師 (農場業務)	手代木 弘樹
	技師 (農場業務)	小澤 志歩

所 属	職	氏 名
種豚家きん部 養豚家きんチーム  原種豚チーム (種豚家きん部)  草地飼料部 草地飼料チーム  環境資源チーム  (酪農肉牛部兼 草地飼料部)	部 長	中條 満
	上席主任研究員	高橋 伸和
	副主任研究員	曾地 雄一郎
	技 師	庄司 宙希
	研 究 員	松尾 賢吾
	技師 (農場業務主任)	中村 義孝
	技師 (農場業務主任)	門脇 裕司
	技師 (農場業務)	門間 恵
	技師 (農場業務)	菅原 雄司
	技師 (農場業務)	尾形 敏
	部 長	石川 知浩
	副主任研究員	天野 祐敏
	研 究 員	杉本 達郎
上席主任研究員	荒木 利幸	
技 師	伊藤 裕之	
技師 (農場業務主任)	阿部 浩	
技師 (農場業務)	及川 真樹	
技師 (農場業務)	門間 友和	
技師 (農場業務)	及川 孝昭	

### 3. 会 計

#### (1) 歳 入

(令和6年5月31日現在)

科 目	収 入 額	備 考
	円	
使用料及び手数料	825,980	
使 用 料	825,980	鉄塔敷等使用料
財 産 収 入	112,997,017	
財 産 売 払 収 入	112,997,017	
物品売払収入	27,192,902	肥育牛等販売代金
生産物売払収入	85,804,115	原乳等販売代金
諸 収 入	9,451,773	
受託事業収入	9,441,651	受託事業収入
雑 収 入	10,122	電気代等
収入証紙収入	66,372,700	和牛・豚精液
計	189,647,470	

## (2) 歳 出

	0 2 総務費		0 6 農林水産業費		
	0 1 総務管理費		0 1 農業費		
	0 1 一般管理費	0 2 人事管理費	0 2 総合農政 企画指導費	0 7 食料需給総 合対策費	1 2 農業改良 普及費
0 1 報 酬					
0 2 給 料					
0 3 職員手当等					
0 4 共 済 費					
0 7 報 償 費					
0 8 旅 費		16,228			
1 0 需 用 費		1,540			
1 1 役 務 費		11,517			
1 2 委 託 料					
1 3 使用料及び 賃借料					
1 4 工事請負費					
1 7 備品購入費					
1 8 負担金及び 補助交付金		41,800			
2 1 補償補填及 び賠償金					
2 6 公 課 費					
計	0	71,085	0	0	0



(単位：円、令和6年5月31日現在)

				合 計
	0 2 畜産業費			
1 4 農業試験 研究費	0 2 畜産振興費	0 3 家畜保健 衛生費	0 4 畜産試験 研究費	
				0
	737,458		196,294,873	197,032,331
	263,043		107,695,921	107,958,964
	155,030		60,228,862	60,383,892
				0
	557,934		669,146	1,243,308
	67,563,894		101,243,165	168,808,599
	8,027,604		2,530,205	10,569,326
	13,798,271		16,114,562	29,912,833
	492,448		13,484,215	13,976,663
			9,906,600	9,906,600
			12,075,800	12,075,800
			128,295	170,095
				0
			193,833	193,833
0	91,595,682	0	520,565,477	612,232,244

#### 4. 県有財産

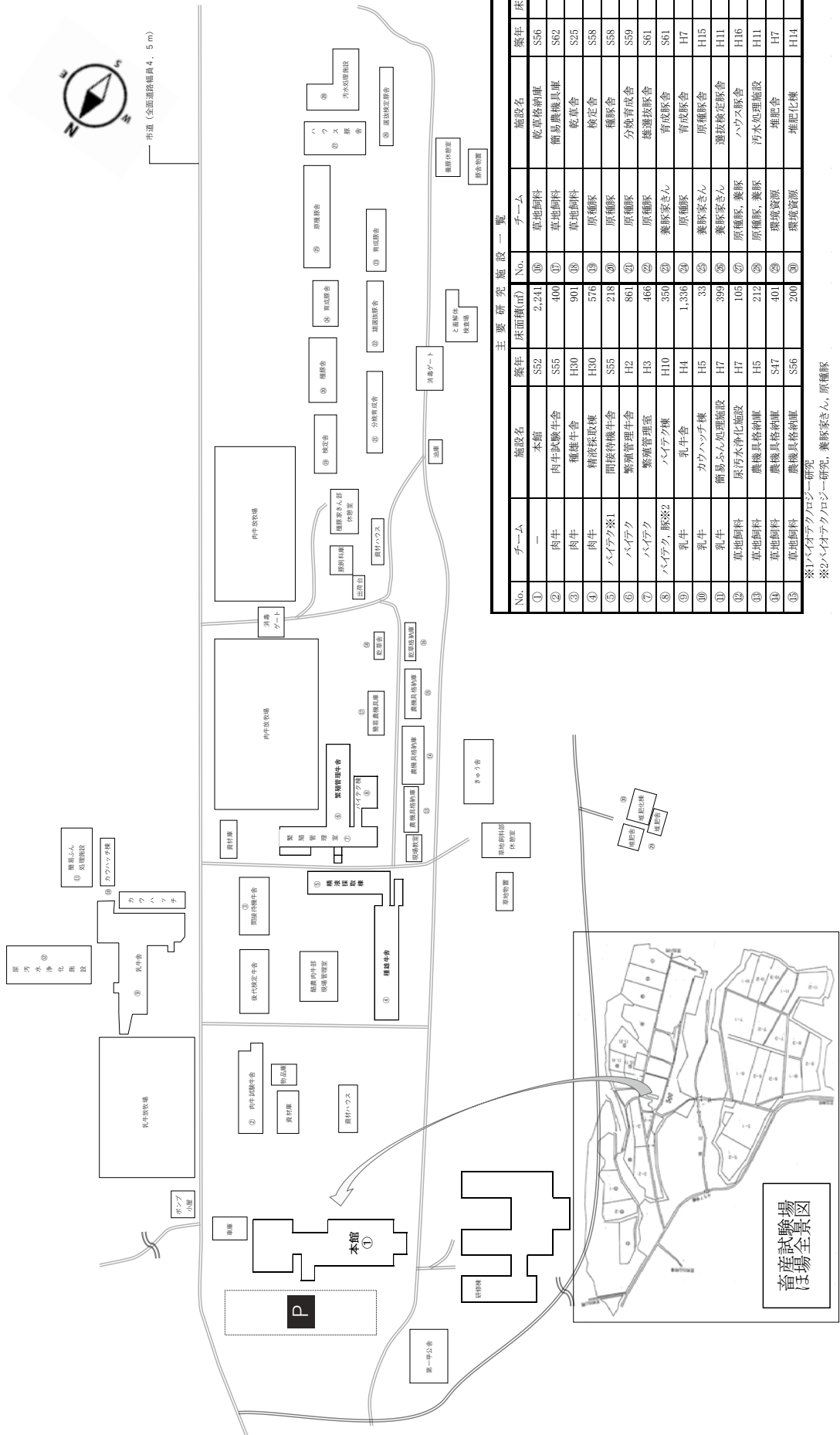
##### (1) 土地

区 分	利用区分	面 積	備 考
行政財産	敷 地	159,051.71 m <sup>2</sup>	建 物
〃	圃 場	989,594.33 m <sup>2</sup>	そ の 他
〃	山 林	9,863.00 m <sup>2</sup>	
計		1,158,509.04 m <sup>2</sup>	
普通財産	敷 地	8,679.74 m <sup>2</sup>	
計		8,679.74 m <sup>2</sup>	
合 計		1,167,188.78 m <sup>2</sup>	

##### (2) 建物

区 分	利用区分	面 積	備 考
行政財産	本 館	2,240.98 m <sup>2</sup>	二 階 建
〃	畜舎その他	15,225.01 m <sup>2</sup>	
計		17,465.99 m <sup>2</sup>	
普通財産	宿 舎	465.14 m <sup>2</sup>	
計		465.14 m <sup>2</sup>	
合 計		17,931.13 m <sup>2</sup>	

# 宮城県畜産試験場配置図



主要研究施設一覧

No.	チーム	施設名	築年	床面積(m <sup>2</sup> )	チーム	施設名	築年	床面積(m <sup>2</sup> )
①	—	本館	S52	2,241	⑩	草草格納庫	S56	428
②	肉牛	肉牛試験牛舎	S55	400	⑪	草他飼料	S62	192
③	肉牛	種雄牛舎	H30	901	⑫	草他飼料	S25	198
④	肉牛	群接保母棟	S55	576	⑬	草草舎	S58	292
⑤	バイアック※1	間接付機牛舎	S55	218	⑭	原種豚	S58	422
⑥	バイアック	繁殖管理牛舎	H2	861	⑮	原種豚	S59	465
⑦	バイアック	繁殖管理室	H3	466	⑯	原種豚	S61	255
⑧	バイアック、豚※2	バイアック棟	H10	350	⑰	養豚家さん	S61	223
⑨	乳牛	乳牛舎	H4	1,336	⑱	原種豚	H7	185
⑩	乳牛	カウハッチ棟	H5	33	⑳	原種豚舎	H15	662
⑪	乳牛	備蓄ふん処理施設	H7	399	㉑	養豚家さん	H11	251
⑫	草他飼料	尿汚水浄化施設	H7	105	㉒	原種豚、養豚	H16	504
⑬	草他飼料	農機具格納庫	H5	212	㉓	原種豚、養豚	H11	96
⑭	草他飼料	農機具格納庫	S47	401	㉔	養豚家さん	H7	163
⑮	草他飼料	農機具格納庫	S56	200	㉕	環境資源	H14	736

※1バイアックプロジェクト研究  
 ※2バイアックプロジェクト研究、養豚家さん、原種豚

編 集 委 員

福 田 純 子                      高 橋 弘 晃

今 井 勇 志                      荒 木 利 幸

宮城県畜産試験場年報（令和5年度）

---

令和6年8月発行

編集兼発行 宮城県畜産試験場  
宮城県大崎市岩出山南沢字樋渡1  
電話番号(0229)-72-3101  
郵便番号 989-6445

---

